

iCOT Ba

2021

---

愛知県立大学グローバル実践教育推進室 年報

---

第9号

2022(令和4)年3月  
愛知県立大学

# i C O T B a

## 2021

---

愛知県立大学グローバル実践教育推進室 年報

---

第 9 号

2022(令和4)年3月  
愛知県立大学

# 目次

MESS/AGE .....	1
1 グローバル実践教育と iCoToBa .....	3
1.1 グローバル実践教育プログラム .....	3
1.2 グローバル実践教育プログラム成果発表会 .....	3
1.3 iCoToBa における学習支援 .....	5
2 iCoToBa での語学教育 .....	7
2.1 iCoToBa 開講講座一覧 .....	7
2.2 講座内容 .....	10
2.2.1 留学前準備講座 .....	10
2.2.2 英語コミュニケーション講座 .....	17
2.2.3 地域コミュニティ言語講座 .....	23
2.2.4 語学検定試験対策講座 .....	29
2.2.5 iContact（あいこんとく） .....	36
2.2.6 協定大学の学生とのオンライン交流 .....	40
3 グローバルセミナー .....	41
4 iCoToBa のイベント .....	48
5 外部・地域との連携事業 .....	50
6 広報活動 .....	51
6.1 iCoToBa 公式 Web サイトでの発信 .....	51
6.2 SNS での発信（Facebook・Instagram） .....	52
6.3 SNS での発信（YouTube） .....	55
7 iCoToBa 学部・学科別利用者一覧 .....	55
8 グローバル実践教育推進室会議 .....	56
9 グローバル実践教育推進室 .....	58

# MESS/AGE

梶原 克教

グローバル実践教育推進室長・教養教育センター長

まるで時候の挨拶であるかのごとくに新型コロナウイルスが引き合いに出されるこの困難な時代に、iCoToBa(多言語学習センター)はネクスト・レベルに踏み出しました。そこで、感染警戒下での当センターの艱難辛苦と工夫を披露することは、ここでは控えて、本学学生たちの将来を明るく照らす、前向きな取組みを共有したいと思います。2021 年度に始動した iCoToBa による新たな取組みは、以下の 4 点に集約されます。

- 【1】「新グローバル人材育成事業」に代わる「愛県大グローバル人材育成事業」のプログラムとしての始動
- 【2】教養教育新カリキュラム「県大世界あいち学」と連動した、新「グローバル実践教育プログラム」の開始
- 【3】専門性と実践性の強化と地域連携を想定した iCoToBa Nexus プロジェクトの検討
- 【4】多言語教育に向けた、教養教育ポルトガル語専任教員の iCoToBa 教育への参加

具体的には、やはり【3】【4】が今後の iCoToBa の発展を大きく左右する要素となるはずです。ブラジル出身のポルトガル語専任教員は、今後、大学院のコミュニティ通訳学コースと連携しながら、在留ブラジル人の多い愛知県における本学の取組みを、iCoToBa を通じて充実させてくれることでしょう。加えて、iCoToBa Nexus プロジェクトでは、上記の地域コミュニティとの連携を念頭に置いた専門的外国語能力の養成だけでなく、地域から世界に発信するプログラムや、たとえ物理的・空間的移動が不可能であっても実施できる、同時ビデオ会議などを利用した海外大学との共同セミナーも計画しています。

単なる外国語能力の育成に満足することなく、「正解のない問い」について外国語能力を生かして考えを巡らせ、アウトプットできるプロセスまで含んだ教育をおこなうことで、この困難な時代(mess age)にあっても、iCoToBa は地域と世界に積極的なメッセージ(message)を発信してまいります。



# 1 グローバル実践教育と iCoToBa

2017 年 4 月に、グローバル実践教育推進室が設置され、「グローバル実践教育プログラム」および教育施設である iCoToBa(あいことば:多言語学習センター)の運営を行っている。

iCoToBa では、「グローバル実践教育プログラム」を推進するために多様な活動を行っている。具体的には、全学部生を対象とした外国語学習支援をはじめ、グローバル化が進む地域社会において、各学部の専門性を活かす場における外国人住民とのコミュニケーション能力の養成や多文化共生社会に必要な異文化理解、さまざまな情報を得るための実践的な英語能力の養成などが挙げられる。

以下、グローバル実践教育において、iCoToBa が果たす役割と、本年度の iCoToBa の取り組みについて述べる。

## 1.1 グローバル実践教育プログラム

2017 年度に始まった「グローバル実践教育プログラム(学部により 19~26 単位)」は、2021 年度から教養教育新カリキュラムと連動し、「県大世界あい学マイスター制度・グローバル実践教育マイスター(全学部 20 単位)」として認定される。卒業時に獲得する知識とスキルは 8 つの分野に定められ、それぞれに科目が設置されている。

- A. 国際教養
- B. プレゼンテーションスキル
- C. 情報リテラシー
- D. 広義のコミュニケーション力
- E. 異文化適応能力
- F. 課題発見・解決力
- G. マネジメント能力
- H. 外国語能力



フィールドワークや PBL などのアクティブラーニングを取り入れ、他学部の専門科目を履修できるようにすることで、異なる専門性や背景知識を持った人と協力し課題を解決する機会が設けられており、実践的な学習そのものが異文化理解体験につながるよう工夫されている。(別表 1、2 参照)

## 1.2 グローバル実践教育プログラム成果発表会

2020 年度入学までの学生の「グローバル実践教育プログラム」修了要件の一つに、当該プログラムにかかわる学修や活動の成果発表がある。今年度の成果発表会は下記のとおり開催され、グローバル実践教育推進室室員の評価により、全員が合格となった。

日時:2021 年 10 月 20 日(水)12:10~13:30(Teams で視聴可)

発表者:外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 1 名

教育福祉学部社会福祉学科 2 名、看護学部看護学科 1 名

別表 1 グローバル実践教育プログラム

	開講科目	設置 単位	必修 単位
A・ 国際 教養	愛知の文化遺産	2	2
	日本の歴史と文化	2	
	アジアの歴史と文化	2	
	ヨーロッパの歴史と文化	2	2
	北アメリカの歴史と文化	2	
	中南米の歴史と文化	2	
	アフリカの歴史と文化	2	
	現代社会の諸問題	2	
	エリアスタディーズ総論	2	
B・ プレゼン テーション スキル	Intercultural Seminars in English (英語セミナー) *	4	2
	Seminários interculturais em português (ポルトガル語セミナー) *	4	
	Séminaires interculturels en français (フランス語セミナー) *	2	
	Seminarios interculturales en español (スペイン語セミナー) *	2	
	Interkulturelle Seminare Deutsch (ドイツ語セミナー) *	2	
	跨文化汉语研讨班 (中国語セミナー) *	2	
	県大教養ゼミナール	4	2
C・ 情報リテ ラシー	情報リテラシー	2	2
	メディア情報基礎	2	
	高度情報社会の理解	2	
	データサイエンスへの招待－実践編	2	
D・ 広義の コミュニ ケーション 能力	多文化社会とコミュニケーション	2	2
	キャリア実践	2	
	日本語表現法	2	
E・ 異文化 適応能力	Global Vision Talks	2	2
	Japan Seen from Outside	2	
	Japan's Interactions with Other Cultures	2	
	教養外国語ショートプログラム	2	
	教養留学修得科目	6	
F・ 課題 発見・ 解決力	ものづくりの現状と課題	2	2
	グローバル社会の諸問題	2	
	いのちと防災の科学	2	
	県大エッセンシャル	2	
G・ マネジメ ント能力	インターンシップ実践	2	2
	キャリア展望－生き抜く力－	2	
H・ 外国語 能力	英語 II	4	2
	Intercultural Seminars in English (英語セミナー) *	4	
	ポルトガル語 I	4	
	ポルトガル語 II	4	
	Seminários interculturais em português (ポルトガル語セミナー) *	4	
	フランス語 I	4	
	フランス語 II	4	
	Séminaires interculturels en français (フランス語セミナー) *	2	
	スペイン語 I	4	
	スペイン語 II	4	
	Seminarios interculturales en español (スペイン語セミナー) *	2	
	ドイツ語 I	4	
	ドイツ語 II	4	
	Interkulturelle Seminare Deutsch (ドイツ語セミナー) *	2	
	中国語 I	4	
	中国語 II	4	
	跨文化汉语研讨班 (中国語セミナー) *	2	
	ロシア語 I	4	
	ロシア語 II	4	
	韓国朝鮮語 I	4	
	韓国朝鮮語 II	4	
	日本語 I	4	
	日本語 II	4	
合 計			20

注：同一科目を複数の科目群の必修単位に組み入れることはできません。

別表 2

## 外国語学部

	専攻外国語	第2外国語（教養教育外国語科目）
英語	TOEIC Listening & Reading Test 800 点以上	TOEIC Listening & Reading Test 730 点以上
フランス語	実用フランス語技能検定試験 準1級以上	実用フランス語技能検定試験 3級以上
スペイン語	DELE B1 以上	DELE A1 以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験 2級以上	ドイツ語技能検定試験 4級以上
中国語	中国語検定試験 2級以上	中国語検定試験 3級以上
ポルトガル語		外国語としてのポルトガル語検定試験 CIPLE 以上 または、「ポルトガル語Ⅱ」、「エクスプレス・ポルトガル語」で A評価を 4単位以上
ロシア語		ロシア語能力検定試験 4級以上 または、「ロシア語Ⅱ」で A評価を 4単位
韓国朝鮮語		ハングル能力検定試験 3級以上、または韓国語能力試験 3級以上
日本語		日本語能力検定試験 N1 合格

日本文化学部 教育福祉学部 看護学部 情報科学部(いずれか1言語について達成の必要有)

英語	TOEIC Listening & Reading Test 550 点以上
フランス語	実用フランス語技能検定試験 4級以上 または、フランス語Ⅰ、Ⅱで A評価を 4単位以上
スペイン語	DELE A1 以上 または、スペイン語Ⅰ、Ⅱで A評価を 4単位以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験 4級以上 または、ドイツ語Ⅰ、Ⅱで A評価を 4単位以上
中国語	中国語検定試験 4級以上または、中国語Ⅰ、Ⅱで A評価を 4単位以上
ポルトガル語	外国語としてのポルトガル語検定試験 CIPLE 以上 または、ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ、エクスプレス・ポルトガル語で A評価を 4単位以上
ロシア語	ロシア語能力検定試験 4級以上 または、ロシア語Ⅰ、Ⅱで A評価を 4単位以上
韓国朝鮮語	ハングル能力検定試験 5級以上または、韓国語能力試験 1級以上または、韓国朝鮮語Ⅰで A評価を 4単位
日本語	日本語能力検定試験 N1 合格（留学生対象） または日本語Ⅰ、Ⅱで A評価を 4単位以上

備考

注1：検定試験は、本学在籍中に受験したものに限る。

注2：TOEIC Listening &amp; Reading Test については公開テスト、あるいは、本学で受験したIPテストに限る。

## 1.3 iCoToBa における学習支援

本学のグローバル実践教育を推進し、多文化共生社会で活躍できる力を身につけるために、iCoToBa では、以下のような外国語学習支援と異文化理解および異文化交流のための活動を行っている。

### 1. 外国語学習支援(第2章参照)

目的別、レベル別に4種類の語学講座(留学前準備講座、英語コミュニケーション講座、地域コミュニティ言語講座、語学検定試験対策講座)と、個別指導を行う iContact(あいこんたくと)

を開講している。それぞれの内容を表 1 に示す。

[表 1 iCoToBa における外国語学習支援]

講座名称	内容
留学前準備講座	留学に必要なとなるアカデミックスキルや、留学先の日常生活に必要な知識や会話能力を養成する講座
英語コミュニケーション講座	外国語を専門としない学生も受講しやすいように、CEFR の A1 レベルから C1 まで、多様なクラスを設定した講座
地域コミュニティ言語講座	愛知県を中心とする地域でニーズの高い外国語（ポルトガル語など）を中心に、外国にルーツを持つ人々への円滑な対応を目指す。専門職業分野にも特化した講座
語学検定対策講座	TOEIC、TOEFL、その他語学検定試験対策講座
iContact	外国人教員および留学生による予約制の個別指導

## 2. 国内外のグローバル・イシューを学ぶ、グローバルセミナー（第 3 章参照）

本学の専任教員を中心に、国内外のグローバルな文脈における研究や、研究に関連した活動、または、海外生活で得た経験などを紹介するセミナーである。全学教員の協力により、さまざまなテーマを取り上げている。1 回完結型で凝縮された内容を扱っており、学生のみならず教職員の参加も多い。

## 3. 異文化理解・交流イベント（第 4 章参照）

外国の文化を紹介・体験するイベントや、本学留学生や近隣機関との交流イベントなどを開催している。異文化を理解し、外国語でコミュニケーションする機会にもなっている。また、これらの多くのイベントは、企画段階から学生も参加しており、学生の自主性や行動力、マネジメント能力育成も目指している。

## 4. 留学報告会

学生の留学への動機づけを目指した、留学体験談を聞くイベントである。毎週月曜日の昼休みに開催している。

## 5. 地域社会と連携した学習機会の提供

地域産業界や自治体等と連携し、地域社会における課題解決を目指した学習機会や地域でのボランティア活動の機会を学生に提供している。

## 6. 学生活動の支援

学生の自主的な活動を貴重な学習経験と捉え、iCoToBa では、学生による企画立案・実施を推奨、サポートしている。現在では、学生の自主グループ iCoToBa Supporters Club（ISC）が組織化され、iCoToBa の運営に積極的に参画している。



## 2 iCoToBa での語学教育

iCoToBa では、外国語教育の目的として、①留学準備、②全学の英語力の強化、③多文化共生社会に必要となる専門性を活かすための外国語コミュニケーション能力養成に重点を置いている。このような目的のもと、2021 年度に iCoToBa で開講した語学講座は、「留学前準備講座」、「英語コミュニケーション講座」、「地域コミュニティ言語講座」、「語学検定試験対策講座」の 4 種類である。これらの講座に加えて、個別指導を行う iContact(あいこんたくと)も実施した。

iCoToBa の語学講座は、1 学期に 13 コマ行うものと、外国語を専攻としない学生にも学びやすいよう、5 コマで 1 セットのショートコースの 2 種類がある。

また、愛知県をはじめとする東海地域は、外国人居住者が多い地域であり、私たちは社会のあらゆる場面で外国人とのコミュニケーション場面に遭遇する。そこで、2017 年度から、将来、看護師、介護士、教師、公務員などを目指す学生を対象に「地域コミュニティ言語講座」を開講している。2021 年度は、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語の講座を開講した。

以下、2021 年度に iCoToBa で開講した語学講座について報告する。

### 2.1 iCoToBa 開講講座一覧

2021 年度に iCoToBa で開講した語学講座を、表 2～5 に示す。表内の「レベル」はヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference:CEFR)によるものである。それぞれのレベルの目安は、A1:初級、A2:初中級、B1:中級、B2:中上級、C1:上級、All Levels はレベルに関係なく受講できる科目である。

[表 2 2021 年度 iCoToBa 開講 留学前準備講座]

開講時期	科目名称	各言語科目名称	レベル	受講者数
前期	映画を使った英語学習のコツ	Study English with Movies	A2-B2	10
前期	PBL 型授業ライティングサポート	PBL Writing Consultations	All Levels	8
前期	ビデオ制作共同プロジェクト: 日本にいる難民の声を聴きましょう	Voices of Refugees in Japan: Collaborative Video Project	A2-B2	8
前期	映画について話そう: 批評とディスカッション	Talking about Movies: Critical Discussion	B1-C1	10
前期	パンデミックと文化を議論する	Discussing the Coronavirus: Biology, Society and Media-Culture	B1 and up	1

後期	中・上級向けディスカッション:グローバルニューストーク	Intermediate / Advanced Discussion Class: Global News in English	B1-C1	11
後期	英語で自分の海外旅行計画を立てよう！	Plan a Trip in English: Applying your English to your Travels	A2-B2	4
後期	ハリウッドの話題作:映画鑑賞とディスカッション	Hollywood's Strangest Movies: Viewing and Discussion	B1-C1	12
後期	日本のポップカルチャーについて話そう:アニメ編	Let's Talk Japanese Pop Culture: Anime	B1-C1	11
前期	フランスでの生活を始めましょう！	Allons en France !	A2-B1	3
後期	フランスでの生活を始めましょう！	Allons en France !	A2-B1	2
前期	スペイン語・DELE の準備をしよう！	¡Listos para el DELE!	A2-B2	23
後期	スペイン語・DELE の準備をしよう！	¡Listos para el DELE !	A2-B2	8
前期	ドイツ語・留学前準備講座	Vorbereitung auf das Auslandsstudium	A2	1
後期	ドイツ語・留学前準備講座	Vorbereitung auf das Auslandsstudium	A2	6
前期	中国事情を語る	留学之前話中国	A2-B1	6
後期	中国事情を語る	留学之前話中国	A2-B1	2

[表 3 2021 年度 iCoToBa 開講 英語コミュニケーション講座]

開講時期	科目名称	各言語科目名称	レベル	受講者数
前期	生きた英語発音 新入生・初級生向けの楽しいコース	Pronunciation Profiles Fun Class for New Students and Beginners	A1-B1	5
前期	就活のための英語	English for your Job Hunting	B1 and up	4
前期	英会話:基本へ立ち返る 英語コミュニケーション講座	English: Back to Basics English Communication Workshop	A1-B1	29

前期	初心者向けフリートーク: ボキャブラリーと簡単な ディスカッション	Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion	A1-B1	6
前期	「マイペースで」トピック ディスカッション	Relaxed Topic Discussions	B1-C1	5
夏期	映画で英語を、英語で映 画を	Talking about Movies Summer Marathon	All Levels	13
後期	初心者向けフリートーク: ボキャブラリーと 簡単なディスカッション	Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion	A1-B1	10
後期	英会話: 基本へ立ち返る 英語コミュニケーション 講座	English: Back to Basics English Communication Workshop	A1-B1	11
後期	伝わる英語メールの秘訣 英語論文基礎講座	Improve your English Emails English Academic Writing Workshop	B1-B2	5
後期	「マイペースで」トピック ディスカッション	Relaxed Topic Discussions	A2-B2	2

[表 4 2021 年度 iCoToBa 開講 地域コミュニティ言語講座]

開講 時期	科目名称	受講者数
前期	文化・生活分野スペイン語入門講座	14
後期	教育分野スペイン語入門講座	1
前期	文化・生活分野ポルトガル語入門講座	28
後期	教育分野ポルトガル語入門講座	10
後期	医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座	6
前期	文化・生活分野中国語入門講座	6
前期	観光・文化分野韓国朝鮮語入門講座	23
後期	観光・文化分野韓国朝鮮語入門講座	11
前期	観光・文化分野ベトナム語入門講座	5
後期	観光・文化分野ベトナム語入門講座	1

[表 5 2021 年度 iCoToBa 開講 語学検定試験対策講座]

開講 時期	科目名称	受講者数
前期	TOEIC Clinic	15
前期	New TOEIC Reading Exercises	16

後期	TOEIC Strategies: 10-Week Course	16
後期	TOEIC Clinic (Separate Sessions)	13
後期	フランス語: ネイティブによる仏検 1 次試験対策講座	6
夏期	英語検定試験対策講座	30
春期	英語検定試験対策講座	30
後期	スペイン語: DELE B2 の準備をしよう!	4
後期	中国語: 中国語検定試験 3 級合格を目指そう!	14
後期	ドイツ語能力検定試験・CEFR 対策講座	1
後期	日本語能力検定試験対策講座(留学生対象)	2

## 2.2 講座内容

### 2.2.1 留学前準備講座

#### 【英語】

#### Study English with Movies

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Tuesday 3<sup>rd</sup> period

Objective:

- To improve English study skills using movies.
- To become motivated to study English on your own time, in your own way.
- To gain the basic vocabulary for talking about film-viewing in English.

Course Contents:

This was a study-skills workshop, where we watched popular movies and used them to try different methods of movie-based English study. We watched three movies in the course. We viewed a single film in full, then chose pieces of it to practice study methods like shadowing, vocabulary hunting, journal entries, and more. Students could vote as a class for which movie they wanted to work with.

End-of-Semester Review:

There were some attendance and registration troubles at the beginning of this course, arising from the hybrid situation. However, once these problems were resolved the class was successful. The students were from different departments, including outside of the School of Foreign Studies. Consequently, there were differences in language ability. However, the small class size and common interest in movies led to a supportive atmosphere. I am glad to see that this style of course is still popular 1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> year students.

#### Voices of Refugees in Japan: Collaborative Video Project

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 5<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To gain experience working with a real-life NGO.
- To gain project-management and networking skills using media technology.
- To gain awareness about global issues and a desire to pursue social justice.

#### Course Contents:

In this iCoToBa Project-Based Learning (PBL) course, we worked with an NGO, Door to Asylum Nagoya (DAN), which helps to raise awareness about refugees in the Chubu area. The focus this semester was to interview a refugee and learn about their personal situation. Then, using the refugee's interview as a base, we created a bilingual video which aims to help others understand and care about the refugee situation. Emphasis was also placed on maintaining the refugee's privacy.

#### End-of-Semester Review:

As before, this class was a great success. Though coordinating meeting times with students and the NGO was difficult, we were able to put together a powerful video based on the interview we obtained. The students were able to creatively use the audiovisual techniques we practiced in order to tell the story. In addition, the students were able to edit the videos for themselves this time, which we could not do in the previous class. Positive responses from both students and the NGO prove that these projects are some iCoToBa's most valuable contributions.

### Talking about Movies: Critical Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Thursday 4<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To become able to talk about films in English at an advanced level.
- To train academic skills via the medium of film studies.
- To connect films with their social and cultural origins.

#### Course Contents:

This class focused on making students able to participate in lectures and sections while studying abroad. Introductory topics on Film Studies formed the lecture material which students studied and responded to. The class format combined discussion sessions with academic skill-building and content knowledge. Weekly readings highlighted different words and concepts for talking about films critically. In the classes I lectured on the reading before a student-led discussion session. In addition to lectures and movie clips, we also watched and prepared responses to two full English-language films.

#### End-of-Semester Review:

Since this was a face-to-face class after a long year of online work, I opted to make this class more seminar/discussion-oriented rather than academic skills-oriented. This was a good choice, because the students who participated came from wide age range, including students who had already studied abroad. Student motivation for the course was particularly high this term, so the class was very successful. I also streamlined the final presentation assignment, which

helped us avoid the technical difficulties of previous semesters.

### Discussing the Coronavirus: Biology, Society and Media-Culture

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Friday 2<sup>nd</sup> period

Objective:

- To gain the language and thinking skills needed to critically discuss serious issues in English.
- To explain (or find out) what your positions on world issues are.
- To experience a seminar-style course in English.

Course Contents:

In this seminar-style discussion course, we used up-to-date newspaper articles as the base for talking about the many aspects of the coronavirus situation, including biology, government policy, lifestyle, and media representation.

End-of-Semester Review:

Unfortunately, there was low enrollment for this course. This was a shock, since the previous version of the course in 2020 had been such a success. Perhaps the scheduling changed, or perhaps it was because students were no longer interested in discussing the Covid situation. Instead, I turned this section into an open discussion/ free talk class, which the few participants joined at their convenience. The negative response to this specific style of course prompted me to rethink my course designs from the second semester.

### Intermediate / Advanced Discussion Class: Global News in English

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Tuesday 2<sup>nd</sup> period

Objective:

- To improve listening comprehension and vocabulary for news in English.
- To make a habit of reading the news in English and thinking critically about events.
- To practice expressing and defending our opinions about controversial topics

Course Contents:

This course had two lesson styles which were repeated through alternating weeks. The first style was listening oriented. The teacher played 2 to 3 news broadcasts, while highlighting important vocabulary. Students then wrote summaries of their understanding of the broadcast, which we checked as a class. Afterwards, the students had a discussion about the issues in those broadcasts. The second style was reading and discussion oriented. Students shared their chosen news articles on a Teams page and presented their view of the issues in class. After a Q&A session, they broke into groups and discussed the issues. In the final week of class, we reviewed our topics and discussed how to integrate critical news consumption into our lives.

End-of-Semester Review:

This class was one of the trials for the new “iCoToBa Nexus” style of course from the previous semester. These are openly structured, student-determined courses which are flexible for

different enrollment levels. For this news course, the combination of listening and reading modules was a very good mixture for training important reception skills while keeping the attractive emphasis on speaking in the students' minds. The students were mostly advanced levels, although two students of intermediate level also participated successfully in the course. One problem was that I continually had to push students to contribute their articles, which is a task for the future. However, all things considered, this was a successful trial of the nexus-style course.

## Plan a Trip in English: Applying your English to your Travels

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday 2<sup>nd</sup> period

Objective:

- To understand the basics about independent travel.
- To learn English vocabulary and phrases related to traveling.
- To practice using printed and online materials in English.

Course Contents:

The ethos of this course was that planning a trip is a fun way to improve practical English skills. Therefore, this workshop-style project-based learning class guided students through the process. We practiced booking flights and hotels, reading guidebooks, and making travel itineraries. We also discussed travel safety and other issues. At the end of the class, students presented their self-designed trips to their classmates.

End-of-Semester Review:

I was slightly worried to offer this course on travel during the pandemic, since the situation might lead to decreased interest. Indeed, only four students joined. However, these four students were all level-appropriate and were deeply interested in using the course as a base for both English practice and travel skills. Therefore, the class was very successful, including good attendance, completion of all modules, and increased speaking, listening, and reading comprehension for all of them. In addition, I spent more time making sure students understood the final activity, which led to better finished projects than in previous years. I still feel that this style of 4-skills/PBL mixture is beneficial for the students, so I will continue to offer this course in the future.

## Hollywood's Strangest Movies: Viewing and Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To use movies as tools for expanding our English speaking abilities.
- To become able to talk about movies at an advanced level.
- To get used to speaking about complicated topics without much preparation.

Course Contents:

This class was designed as an open-structured follow-up to the Talking About Movies class of Semester 1. In each class we watched a section of an English-language movie. Afterwards, students had 5 to 10 minutes to prepare a response. These responses formed the basis for a free discussion that took up the rest of the class. The teacher filled out the discussion with subject-appropriate vocabulary, as well as useful concepts from film and media studies.

#### End-of-Semester Review:

This class was one of the trials for the new “iCoToBa Nexus” style of course from the previous semester. These are openly structured, student-determined courses which are flexible for different enrollment levels. For this movie class, the format was especially appropriate, since we could easily adjust the course schedule based on the movies which we chose to watch. This class also was successful because many students from the spring semester’s movie class joined again. I had initially planned to keep this course based on light discussion, but the students decided together that they wanted more information about critical film analysis, so I included more lecture modules than expected. This was another successful trial of the nexus-style course.

### Let's Talk Japanese Pop Culture: Anime

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday 5<sup>th</sup> & Friday 3<sup>rd</sup> period

#### Objective:

- To gain the language and thinking skills needed to critically discuss serious issues in English.
- To explain (or find out) what your positions on world issues are.
- To experience a seminar-style course in English.

#### Course Contents:

In this zemi-style discussion class, students discussed “anime” in terms of four categories: personal reaction, construction (story, character, etc.), social role or theme, and medium (anime versus cinema, manga, etc.). At the beginning of the course were initial modules in which students set their goals for the course and made a schedule of anime genres and titles to watch. Following their schedule, we spent each lesson watching an anime episode and discussing it according to the four categories. In the final class, we reviewed what we had discussed and talked about how to critically view popular media in our future lives.

#### End-of-Semester Review:

This class was one of the trials for the new “iCoToBa Nexus” style of course from the previous semester. These are openly structured, student-determined courses which are flexible for different enrollment levels. For this anime class, I had reached out to interested students beforehand, so I already had a small base of motivated participants. Happily, even more students joined than expected, to the point where I opened two versions of the course. Each version of the course differed based on what the students chose to do. The Thursday course had more participants and was structured more academically. The Friday course had smaller numbers and was more like the casual discussion class I initially imagined. Both versions achieved their goals, since they matched the students’ plans created within the course. This was



another successful trial of the nexus-style course.

### 【フランス語】

#### Allons en France! (フランスでの生活を始めましょう!)(遠隔授業)

担当: Karine ZIMMER

授業時間: 前期・後期 火曜 4 限

授業目的:

元々、この授業は留学を希望している学生たちの指導が目的ですが、現在、コロナウィルスにより留学が中止になっています。したがって本授業では、留学の具体的な紹介ではなく、日常会話ができるようになる事と仏検に備えた練習を目的としました。

授業内容:

もしフランス人留学生とフランス語で会話する機会があればどんな話をするかという内容に基づいていろいろな言い方を大学生たちに身に付けさせること。その際に文法の復習、表現の説明、フランス人の習慣についても説明すること。

また、仏検に向けて、特に面接の練習を行うこと。

今期の総括:

学生がこの授業のやり方にしっかり慣れた上でとても効果的な勉強ができたと思います。恐れずに会話ができるようになりました。相手に理解されるようにとても重要な正しい発音も身に着けて上達しました。フランス語での言い方だけではなくフランスの文化についての知識も広げることができました。

### 【スペイン語】

#### DELE の準備をしよう! (遠隔授業)

担当: Ana GARCIA

授業時間: 前期 木曜 5 限

Objective:

Practice Spanish with a native speaker and improve the oral competence of the students in a basic level.

Course Contents:

We practiced with exercises and the contents of *Muy bien* textbook, lessons 4, 5 and 6, introduce yourself, speaking about everyday activities using basic vocabulary and the present of regular and some irregular verbs, speaking about preferences and other basic functions.

End-of-Semester Review:

We practiced with exercises and the contents of *Muy bien* textbook, lessons 4, 5 and 6. I tried to create a good atmosphere and give students opportunities to express in Spanish.

A learning goal for myself in the future is to plan the five classes as a project with a specific goal and task for the students with a task-based orientation.

#### DELE の準備をしよう! (遠隔授業)

担当: Lidia SALA

授業時間： 後期 水曜 4 限

Objective:

Becoming familiar with the content of the Spanish DELE certification exam and to practice several of its tasks.

Improving vocabulary access, listening and conversation skills.

Course Contents:

The first sessions aimed to describe the parts and tasks of the exams and to provide the students with some strategies to improve their performance. Strategic learning was combined with exam-like practice followed by feedback from the teacher. Last sessions focussed in activities that improve lexical access and comprehension skills.

End-of-Semester Review:

Attendance before the DELE exam was very good and students could profit from last year's experience in online teaching, as I was more aware of Team's functions and capabilities. Attendance after the exam, however, was difficult to achieve. It might be related to the time class took place, though. Overall impression is positive, though, as small classes made possible better assessment and feedback.

## 【ドイツ語】

### Vorbereitung auf das Auslandsstudium (留学前準備講座)

担当： Martin NIERIS

授業時間： 後期 水曜 3 限

授業目的:

海外生活を希望する学生といっても、レベルや特性、モチベーションは異なるが、それぞれが他の国々や文化に興味を持てるように心がけた。また、語学のみならずその国での生活に対する準備として、現地での生活に即した語学や文化の学習をする。さらに、外国での学習形態や方法の違いについても学ぶ。コロナ禍で安易に旅行や留学はできなくなっているが、海外への気持ちをなくさずに学習に取り組めるよう手助けする。

SIM カードの入手方法や銀行口座の開設の仕方、レンタカーの借り方、チップの渡し方などのすぐに使える情報の提供や今後、外国で仕事を探す際の助けになるような授業を行なう。

また、日本にしながらできる学習方法や国際的な情報収集についてもアドバイスをを行う。

授業内容:

大学の町

Das Akademische Viertel

メンザアプリ

小さな町リューネブルクについての詳細な情報を説明。

Spezialitäten aus Baden Württemberg und Norddeutschland

Dialekte: Platt und Schwäbisch, Alemannisch

Neue Begriffe aus der Coronazeit

Studium und Studiengebühren

Asiatische Läden in Deutschland

Autobahn und Autofahren

Alkohol und Brotkultur

Sommerzeit und Traditionen

Eurostadt und Euroregion

Russen, Türken, Araber in Deutschland

今期の総括と課題:

学生は概ね意欲的に取り組み、国や文化など言語のみならず、その背景にまで興味を持って授業にのぞんでいた。学生は、ドイツ語が上達したと感じ、授業内で質問ができる環境にあり、積極的に臨めた事がうかがえる。講師として、さらに学生の求める学習内容を提供できるように努力したい。

## 【中国語】

### 留学之前话中国(中国事情を語る)(遠隔授業)

担当: 劉 平

授業時間: 前期・後期 木曜 5 限

授業目的:

根据学生的实际水平有针对性地进行语言表达训练, 结合中国文化、历史、经济、时事等做相应的讲解, 以巩固、提高和补充学生在主课上学到的知识。

授業内容:

本期学员为一年级学生, 不具备基本的词汇和语法知识, 因此从语音练习着手, 选择短小的成语和历史人物故事的视频, 先视听, 再根据文字材料进行朗读训练, 通过反复纠音、正音、语意讲解、向学生提示语法点, 增强学生的语感和对汉语语法特性的敏感性。

今期の総括と課題:

根据学生的反馈, 上述教学内容和方法比较适合一年级学生, 也有效地活用了远隔教学的网上资源。后期教学可在此基础上充实更多内容并适当增添一些语法讲解。

## 2.2.2 英語コミュニケーション講座

### Pronunciation Profiles

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 2<sup>nd</sup> period

Objective:

- To improve pronunciation and intonation, especially of trouble sounds.
- To apply learned pronunciation to natural listening and speaking.
- To look at how personality and emotion can affect pronunciation.

Course Contents:

Students listened to a talk by a famous person and isolated a pronunciation point. After practicing the pronunciation point through drills and games, students returned to the featured person's talk and reproduced the day's point in a larger text.

#### End-of-Semester Review:

This class kept the 90-minute full-course time of the previous year, as well as the online environment. The hybrid situation and low student number made teaching somewhat difficult, as before. However, the students who did join had regular attendance and active participation. Their end-of-semester responses indicated that they were happy with the pronunciation practice offered by the course.

### English for your Job Hunting

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

#### Objective:

- To learn the English terms, ideas, and document styles used in job hunting.
- To practice interviewing in English.
- To learn how to link your skills and experiences when describing yourself.

#### Course Contents:

In this 10-week class, we practiced some of the written and spoken activities needed to do job hunting in English. We learned words, phrases, and ideas that connect experiences to skills and prove that someone is an attractive candidate to employers. We also practiced doing job interviews in English.

#### End-of-Semester Review:

Unfortunately, only one student joined this class. This student was immensely motivated and responsible, so we could do all the planned activities and modules, including the interview practice. For this one student, the class was extremely valuable. However, since there appears to be a lack of interest in this course topic, I will not offer it in the future.

### English: Back to Basics: English Communication Workshop

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 4<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To review some basic points about English grammar and speaking.
- To smooth out spoken English and reduce errors.
- To gain confidence and fluency in speaking.

#### Course Contents:

This class featured simple English skills that students had covered in public school. We reviewed points of basic grammar and practiced asking questions to keep a conversation going. This class was a safe space for students who still aren't comfortable with English, as well as a chance for more confident speakers to brush up on the basics.

#### End-of-Semester Review:

Perhaps because of the return to face-to-face lessons in this class, we had a large number of participants, which was good. There were a wide variety of majors who joined this course.

Many departments were represented, including the School of Social Welfare. Therefore, there is a sense that our targeting of non-Foreign Language majors is slowly starting to work. The course was successful. Especially, the large number of students allowed me to conduct the activities flexibly, as well as to pair students of appropriate levels so that students could participate comfortably according to their abilities.

### Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Thursday 2<sup>nd</sup> period

Objective:

- To improve fluency of English through practice.
- To get over fears and hesitation over speaking English.
- To learn how to incorporate new vocabulary into speaking.

Course Contents:

This was a simple free talk space aimed at beginner-level English learners. The class was divided into two parts. In the first half, we worked with a short vocabulary list, doing drills to practice using the vocabulary. In the second half, we did free talk using simple discussion topics. The activities were meant to help beginners get over their hesitation about speaking in a foreign language without structured activities.

End-of-Semester Review:

Like some of the other general discussion courses, this had a drop in numbers. However, the five students who did participate were all from departments outside of the School of Foreign Studies, including three students from Aichi Prefectural School of Arts. This is exactly the type of diversity these beginner classes hope to target. In addition, they maintained good attendance and communication throughout, and reviewed the class positively. Therefore, there is a sense that these classes do appeal to the target students, if we can get over the issues of scheduling and inertia.

### Relaxed Topic Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Friday 3<sup>rd</sup> period

Objective:

- To gain fluency and confidence in spoken in English through extensive practice.
- To improve variety in vocabulary and expressions while focusing on speaking.

Course Contents:

This class was open-structured for fun and casual chat between intermediate-level English learners. Each week, students choose a topic and question based on their own interests and posted it online. In class, students took turns sharing their topics and posing discussions questions for the class. We broke into small groups to talk freely about each topic. The teacher gave vocabulary and phrases which could help students express their ideas about the topic

more clearly and accurately.

#### End-of-Semester Review:

As in the previous semester, this online version of the course attracted only four students to the course. I have begun to understand that the Friday slot is not ideal for discussion-based courses, though I am not sure why that is, since based on the master schedule target students should have availability there. I will try to adjust this from next school year, although the new curriculum will likely change things again. At any rate, these four students were level-appropriate, punctual, and prepared their topics passionately, which made for rich and intimate discussions. Their positive reviews of the course indicate that the topic itself is attractive; the issue likely has something to do with scheduling.

### Talking about Movies Summer Marathon

Instructor: Brett HACK

Period: September 27, 28, 29 & 30

#### Objective:

- To have a fun and easy-to-join English activity in the summertime.
- To shift iCoToBa's public activities towards a more drop-in form.

#### Course contents:

This was an intensive summertime course event made to generate interest in the "Nexus" style of courses which would be offered from the second semester (see above). Each day had two sessions: morning and afternoon. Each day was organized around a theme/genre of films: political thriller, horror, musical, race issues. In each session we watched a full Hollywood film based on those topics. Students were then given time to prepare responses and then we had a discussion about the film and those issues.

#### End-of-Semester Review:

Since this was a drop-in course, the attendance was very sporadic, which was exactly what was expected. There were about 3 to 6 participants in each session depending on the topic. Many of those same students joined the "Nexus" style classes in the second semester, so the event is seen to be successful. Students have also requested to repeat the event in the spring vacation, so there is a sense that such movie viewings are a useful part of iCoToBa within APU's campus culture.

### Free Talk for Beginners: Vocabulary Drills and Simple Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 3<sup>rd</sup> period

#### Objective:

- To improve fluency of English through practice.
- To get over fears and hesitation over speaking English.
- To learn how to incorporate new vocabulary into speaking.

#### Course Contents:

This was a simple free talk space aimed at beginner-level English learners. The class was divided into two parts. In the first half, we worked with a short vocabulary list, doing drills to practice using the vocabulary. In the second half, we did free talk using simple discussion topics. The activities were meant to help beginners get over their hesitation about speaking in a foreign language without structured activities.

#### End-of-Semester Review:

Continuing from the last semester, this class had a relatively small class size: 7 regular members. However, this is enough to conduct the activities, so the course continued as planned. The students were level-appropriate and motivated, though several of them were initially hesitant to speak. In addition, they all enjoyed the free and open structure of conversation. Since the students responded positively to initial tests, I also included extended warm-up games and activities to train speaking skills such as quick response, extended monologues, and sentence construction. These helped shy students build confidence.

### English: Back to Basics: English Communication Workshop

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 4<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To review some basic points about English grammar and speaking.
- To smooth out spoken English and reduce errors.
- To gain confidence and fluency in speaking.

#### Course Contents:

This class featured simple English skills that students had covered in public school. We reviewed points of basic grammar and practiced asking questions to keep a conversation going. This class was a safe space for students who still aren't comfortable with English, as well as a chance for more confident speakers to brush up on the basics.

#### End-of-Semester Review:

There were 7 students in this class, many of whom also joined the Free Talk for Beginners class in the previous period. I was grateful for their dedication and energy in pursuing English practice for three whole hours. The other students also responded to their energy. I am still trying to understand how the same class in the same time period (Wednesday 4<sup>th</sup> period) can have such different levels of student interest: from over 25 students in the first semester to 7 in the second semester. In both cases, student reviews are positive. Whether the issue is scheduling, advertising, or student motivation, it has been a difficult part of iCoToBa curriculum design. I will have to think on it in the future.

### Improve your English Emails: English Academic Writing Workshop

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To understand the structure and style of English emails.
- To be able to write emails in formal and informal registers.
- To learn set phrases to write quickly and politely online.

Course Contents:

This short course taught the basics of email communication in English for the modern world. We focused on professional situations, including situations between students and teachers; however, it also included business situations. Basic English reading and speaking skills were presumed. The class included whiteboard explanations, on-paper exercises, and many interactive writing tasks.

End-of-Semester Review:

This was a test to see if the same course content could attract the same number of students when conducted face to face. Unfortunately, the answer was no. Only one student joined this version, compared to the five students who had joined in fall semester of 2020. If we are to continue this class, holding it online is preferable. Alternatively, these kinds of advanced short courses can be scrapped in favor of more conversation-based courses. However, the topic itself is extremely important for students' growth, and is not offered elsewhere at APU. Therefore, I am reluctant to cancel it.

## Relaxed Topic Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Friday 4<sup>th</sup> period

Objective:

- To gain fluency and confidence in spoken in English through extensive practice.
- To improve variety in vocabulary and expressions while focusing on speaking.

Course Contents:

This class was open-structured for fun and casual chat between intermediate-level English learners. Each week, students choose a topic and question based on their own interests and posted it online. In class, students took turns sharing their topics and posing discussions questions for the class. We broke into small groups to talk freely about each topic. The teacher gave vocabulary and phrases which could help students express their ideas about the topic more clearly and accurately.

End-of-Semester Review:

This course had only two participants who had completely different English levels. It would have been impossible to conduct the course as planned. Therefore, the time was split into two one-on-one sessions, with the remainder of class time being used for iContact reservations. As discussed in the entry for the first semester, the low numbers of this course could be due to general student unavailability on Fridays rather than lack of interest in the course itself. I will take this into account for next year's course design.



### 2.2.3 地域コミュニティ言語講座

#### 入門から初級へ iCoToBa スペイン語講座(遠隔授業)

担当: Ana GARCIA

授業時間: 金曜日 5 限 (6 月 11 日、18 日、25 日、7 月 2 日、9 日)

授業目的:

5 月または 11 月の DELE 試験に合格するために、グループで読解、会話、聞き取りの練習をします。

DELE を受けた後、会話、単語力をアップします。

授業内容:

DELE スペイン語検定試験は、世界中で広く認定されている外国語としてのスペイン語能力に関する検定試験で、スペイン語学習者にとってとても重要な検定試験です。授業では、5 月または 11 月に実施される DELE スペイン語検定試験において A2(初級)、B1(中級)または B2(中上級)に合格できることを目指して、読解、会話、聴き取りの練習をしましょう。

今期の総括:

I think my students did really well with the learning goal of the course, which was improve their Spanish competence and prepare themselves for the DELE exam taking many tests in classes. Overall, our discussions went really well in class and the students would ask questions about the texts, vocabulary and grammar studied.

One learning goal for myself in the future is to vary my assessments and differentiate for those that struggle with testing. I would like to make projects or papers as an option instead of making everyone do the tests. This way I can allow everyone to perform at their best level than having each person perform at one task that they may not be as good as everyone else at. I can also work with them on test-taking skills throughout the year so they can feel more comfortable with it.

#### 教育分野スペイン語入門講座

担当: 金箱 亜希

授業時間: 木曜日 5 限(12 月 2 日、9 日、16 日、23 日、1 月 6 日)

授業目的:

教育現場において、スペイン語圏の児童生徒や保護者を支援する際に必要な知識、語彙や表現を学ぶ。また、他国の教育システムを学ぶとともに、通訳や翻訳をする際に注意する点を理解する。

授業内容:

- 第 1 回 「外国人児童生徒の背景」と「持ち物の言葉」
- 第 2 回 「教科用語と生活言語の違い」と「行事の言葉」
- 第 3 回 「母語・継承語の大切さ」と「教科の言葉」
- 第 4 回 「外国人保護者への対応」と「学校独自の言葉」
- 第 5 回 実践: 外国籍の親子にスペイン語でインタビュー

今期の総括と課題:

受講者の受講動機や関心を聞きとり、テーマや内容を変更した。スペイン語だけではなく、教育現場が抱える問題などを事例をもとに考えることにより、どのような場面で通訳や翻訳が必要なのかを、受講者自身が考えることができた。また、4回の講義で学んだことを生かし、実際にペルー国籍の母親と子ども達(小学生、中学生、高校生)にスペイン語で質問をしたり、教師としてどのような配慮や視点が必要なのかを、保護者や子どもたちに聞くこともできた。保護者、子どもの生の声を聞くことにより学びが深められたのではないかなと思う。

## 文化・生活分野中国語入門講座(遠隔授業)

### 食文化から学ぶ中国語講座

担当: 方 曉娟

授業時間: 火曜日 4 限 (6 月 8 日、15 日、22 日、29 日、7 月 6 日)

授業目的:

この授業の目的は中国の食文化を通して中国語を勉強することである。

中国には、昔から「民は食を以て天と為す」という言葉があります。

身近な食文化からスタートして、中国語を勉強し、中国料理と文化の奥深さを知ると同時に簡単な会話を話せるようになります。

授業内容:

第 1 回(6 月 8 日): 中国料理「料理名を中国語で言えますか」

第 2 回(6 月 15 日): 中国の点心「食べたことがありますか」

第 3 回(6 月 22 日): 中国のお茶「美味しいですか」

第 4 回(6 月 29 日): 中国の米と麺料理「上手に作れますか」

第 5 回(7 月 6 日): 中国本場の水餃子作りに挑戦する

今期の総括と課題:

総括: 三回目の「遠隔授業 (Zoom)」で、テーマに関わる音像素材も積極的に活用し、楽しく授業を行いました。特に最終回の水餃子作りは学生達の協力でとても順調にできました。

課題: 毎回の授業内容のプリントを学生に事前に配り、履修者は中国語初心者の場合でも中国語会話を少し増やしていきたいです。また時短な簡単な家庭料理を作ることを挑戦したいと思っています。

## 楽しく学ぼう！ポルトガル語初心者講座(遠隔授業)

担当: エウニセ スエナガ

授業時間: 水曜日 4 限 (6 月 30 日、7 月 7 日、14 日、21 日、28 日)

授業目的:

ブラジルの漫画、映画や音楽等を通して楽しくポルトガル語を学び、ブラジル人やブラジル文化等について親しみが持てるようになること。

授業内容:

テーマ「楽しく学ぼうポルトガル語初心者講座」

第 1 回 知っておきたい子どものブラジル漫画

第 2 回 知っておきたいブラジルの映画

第3回 覚えておきたい基本的なポルトガル語表現(日常生活編)

第4回 知っておきたいブラジル音楽

第5回 ブラジルの中の日本、日本の中のブラジル

今期の総括と課題:

楽しくポルトガル語を学ぼうというテーマで、ブラジルの漫画、映画や音楽等を紹介しながらポルトガル語を学習した。また東京オリンピック開催期間中だったこともあり、ブラジルのオリンピックに関するニュース等を紹介した。ポルトガル語の知識のある学生とそうでない学生のレベルの差があり、またオンラインだったこともあり、学生の積極的な参加や学生間の交流の機会が少なかった。アンケートでは、オリンピックの話題や毎回違うブラジルの文化等に触れられてよかったという意見があった一方、学生が積極的に参加できる機会がもっとあればよかったという意見が寄せられた。今後の課題は、ポルトガル語を学習した学生とそうでない学生が積極的に参加できる内容にすることである。次回の授業で扱う表現や単語を事前に伝え、授業での積極的な発言につなげていきたいと思う。

### 医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座(遠隔授業)

担当: エウニセ スエナガ

授業時間: 水曜日 5 限(11 月 3 日、10 日、17 日、24 日、12 月 1 日)

授業目的:

ブラジルは新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。しかし2020年の早い段階から生活に困っている人たちに定期的に給付金を交付する、ワクチン開発を進めるなど、日本が参考にできるような政策もとられた。本講座では医療看護を学ぶ学生のために役に立つ知識やポルトガル語を、コロナ禍にあるブラジルの最近の事情とからみあわせながら学ぶ。

授業内容:

第1回 Covid 19 の前と後のブラジル式挨拶

第2回 ブラジルの Covid 19 から学ぶ

第3回 ブラジルを知る、ブラジル人を知る

第4回 みんなで一緒にポルトガル語で健康体操

第5回 ブラジル人患者のオンライン診療に役立つ基礎知識

今期の総括と課題:

日本より先に始まった新型コロナワクチンの接種や追加接種(3 回目接種)など、新型コロナウイルスの影響を受けたブラジルの現状を映像や動画で紹介しながら、医療や看護に関連した知識やポルトガル語を学んだ。今後の課題として、ブラジルや愛知県に多く住むブラジル国籍の人々がもっと身近に感じられるような工夫が必要だと感じた。

### 「学校で役に立つ」ポルトガル語入門講座

担当: エウニセ スエナガ

授業時間: 水曜日 4 限(11 月 10 日、17 日、24 日、12 月 1 日、8 日)

授業目的:

現在愛知県には多くのブラジル出身の人々が暮らしており、子どもたちの多くは日本の学校に通っている。教職員を目指す学生が将来クラス担任としてブラジル人の園児、児童生

徒の教育に関わる可能性は大きいので、この講座ではブラジルと日本との教育制度の違い、そしてブラジル人児童生徒や保護者とのコミュニケーションに役立つ基礎知識やポルトガル語を学ぶ。

授業内容：

- 第1回 日本の学校とブラジルの学校の違いについて
- 第2回 Covid 19 の前と後のブラジル式挨拶
- 第3回 ブラジルを知る、ブラジル人を知る
- 第4回 学校の行事についてポルトガル語で説明する
- 第5回 ブラジル人保護者とのコミュニケーションに役立つ基礎知識

今期の総括と課題：

ブラジルの現在の状況や新型コロナウイルスの影響で挨拶や日常生活がどう変わったかなど、最近の情報を映像や動画などで紹介しながら、ブラジルの教育制度や基礎知識、教育現場で役に立つポルトガル語を学んだ。今後の課題として、ブラジル料理を食べてみる、愛知県に住むブラジル人に話をきいてみるなど、受講生がブラジルやブラジル人がもっと身近に感じられる工夫が必要だと感じた。

## 観光・文化分野 ～관광 · 문화 분야～

### 韓国朝鮮語 CoTo はじめ *Real-Life Korean Conversations*

担当：姜 信和

授業時間：月曜日 4 限(6 月 7 日、14 日、21 日、28 日、7 月 5 日)遠隔授業(Teams, Zoom)

授業目的：

この講座の目的は、韓国朝鮮語の実践的な会話練習を行い、日常生活におけるカジュアルで自然な表現を学習することである。今回はオンライン講座である利点を活かして、日本に関心を寄せている韓国の大学生たちを募り、実際に彼らとの会話を試みるコーナーを設けた。海外への往来がままならない昨今の情勢下、履修生たちが学習意欲を堅持し高められるよう、各自が同年代のネイティブスピーカーと対話して実践練習の経験を積むことを企図した。

授業内容：

具体的な授業内容、各回のテーマは以下のとおりである。

全体テーマ *Real-Life Korean Conversations*

各回のテーマ

- 第一回(6 月 7 日) 自己紹介
- 第二回(6 月 14 日) 趣味について語ろう
- 第三回(6 月 21 日) 最近、どう？元気してる？
- 第四回(6 月 28 日) 今週の土曜、何してる？
- 第五回(7 月 5 日) 第一回～第四回の総復習(~15:00)

韓国・啓明大学校の学生たちと実践練習(15:00~16:00)

今期の総括と課題：

今回は内容をいつもより平易なレベルにするよう心がけたが、それでもこれまでの懸案事項である、受講生のレベル差に起因する問題を完全に解消することはできなかった。また省み

られる点としては、最終日の実践練習の時間が短すぎたことである。韓国側の参加者は計 6 名(啓明大学校生 4 名および韓国外語大学校生 2 名)であったが、ブレイクアウトの時間枠が十分ではなかった。初めての試みでやり難さがあったとはいえ、数回は班分けをしたかったがその余裕がなく、次回以降の改善点となった。

とはいえ、初中級レベル以上の受講生には企画自体は好評であったこと、アンケート結果に肯定的な感想が多かったことから、本講座の当初の目的は概ね果たせたものとする。今後も双方向性に富んだ楽しい授業運営に努めたい。

## 観光・文化分野 ～관광 · 문화 분야～

### 韓国朝鮮語 CoTo はじめ *Real-Life Korean Conversations*

일상 속 진짜 자연스러운 한국어 대화

担当: 姜 信和

授業時間: 木曜日 5 限(11 月 25 日、12 月 2 日、9 日、16 日、23 日)遠隔授業(Teams, Zoom)

授業目的:

本講座の目的は、韓国の日常生活におけるカジュアルで自然な表現を学ぶところにある。具体的には、カフェやレストランでの注文、買い物やアポイントをとる際に必須の数字の運用など、すぐに使える表現に習熟するよう実践的な会話練習を行った。授業ではこれらの練習を通して、韓国の流行や文化の特徴も垣間見られるように映像もふんだんに取り入れた。また、以下にある各回のテーマ以外にも、入門者が不安に陥りやすい韓国語の発音の基礎について、日本語の発音との差異からアプローチして解説した。同時に初中級者にも受講し甲斐があるよう、韓国語の長短音について、アナウンサーによる録音を用いてその要点を概説した。

授業内容:

第一回(11 月 25 日) コリアン・デザート・カフェで

第二回(12 月 2 日) コリアン・レストランで

第三回(12 月 9 日) コリアン・マートで

第四回(12 月 16 日) 韓国コスメを買う

第五回(12 月 23 日) デリバリーにも挑戦

今期の総括と課題:

今回ははじめて、以前に本講座で取り扱った教材を用いて、それに新たなコンテンツをいくぶん追加する形式で授業を行なった。当初は見覚えのある教材を学ぶ受講生がいた場合に、倦怠感などを覚えないか気がかりであったが、結果としては懸念するまでもなかったので安堵している。また毎度、本講座が課題として抱えている受講生のレベル差に起因する授業運営の難しさについては、Teams を十分に活用して入念に個別対応することである程度、フォローできたものと思われる。もちろんこれらの一定程度の成功は、受講生が休暇中にも自ら積極的に質問をくれるなど、学習意欲が旺盛であることの賜物であり、担当教員として喜ばしくありがたい限りである。アンケート結果やコメントについては、過大な評価まであり恐縮している。今後も楽しい授業運営を望む、期待を込めた受講生からのメッセージとして謙虚に受け止めたい。

最後に付言すれば、これらはすべて、伸び伸びとした雰囲気の中で素晴らしい教育環境と

機会をいつも整えてくださるご担当関係部署のご尽力によるものであり、感謝に堪えない。

### 初めてのベトナム語入門講座(遠隔授業)

担当: グエン タン タム

授業時間: 火曜日 5 限 (6 月 8 日、15 日、22 日、29 日、7 月 6 日)

授業目的:

ベトナム語の表記と発音の基本を知り、読むことができる。

ベトナム人と挨拶し、友達関係を築くことができる程度の簡単なやりとりができる。

同じアジアの一つであるベトナムの国・人・文化に親しみ、友好的な姿勢を育む。

授業内容:

本講座の内容はベトナム語に興味を持つ学生の関心に応じて、作成したものであります。オンライン授業では映像化のパワーポイント教材(データ量の削減と、またオンラインでの可読性から PDF 形式に変換)を使用し、ベトナムについての知識及びベトナム語の基本・日常会話といった 2 つの内容を伝えていきます。また、Teams の機能を活用し授業のメモやベトナム語発音の自作録音・録画などの視聴覚資料を学生と共有しています。

各回のテーマは下記の通りであります。

第 1 回 ベトナムの基本知識・あいさつ

第 2 回 ベトナムのユニークな所・自己紹介

第 3 回 ベトナムの料理・注文

第 4 回 ベトナムの旅行・買い物

第 5 回 ベトナムの若者のライフスタイル・友達づくり

今期の総括と課題:

本講座では受講生にベトナム語だけではなくベトナムの基礎知識を理解してもらうために工夫しました。毎回学生との相互コミュニケーションを重視しながら、オンライン授業を実施しました。ベトナムの基礎知識としてベトナムの自然、名物をはじめ、歴史・文化の特徴を写真や動画で紹介しました。それに加えて、受講生の関心や知りたいことを、レッスンの内容と関連づけて説明しました。また、ベトナム語の表記と発音について紹介し、1～数語から成る文を表記のルールに沿ってある程度正しく読み上げられるように練習させました。発音を何回も繰り返してもらいましたが、この段階では受講生はベトナム語のやや複雑な音節・声調に苦戦したと思います。そこで、学生が自宅でも発音の練習・改善できるように Teams を通じて、自作の録音・録画を共有し、サポート教材を工夫しました。応用性が高いと思われる会話を導入し、楽しくベトナム語の文法と語彙を覚えてもらいました。相手の性別・年齢・人間関係に応じる挨拶、料理の注文の仕方、物の値段の聞き方やベトナム人と友人関係を築くための簡単なやりとりを講師とクラスメートとペアで練習させました。受講生から、本講座を通じてベトナムの言葉とベトナムのことが面白い、もっと知りたい、勉強したいという声をいただき非常に嬉しく思いました。

### 初めてのベトナム語入門講座(遠隔授業)

担当: グエン タン タム

授業時間: 火曜日 4 限 (10 月 26 日、11 月 2 日、9 日、16 日、23 日)

授業目的:

- ベトナム語の表記と発音の基本を知り、読むことができる。
- ベトナム人と挨拶し、友達関係を築くことができる程度の簡単なやりとりができる。
- 日本の周辺国の一つであるベトナムの国・人・文化に親しみ、友好的な姿勢を育む。

授業内容:

本講座の内容はベトナム語に興味を持つ学生の関心に応じて、作成したものであります。オンライン授業では映像化のパワーポイント教材(データ量の削減と、またオンラインでの可読性から PDF 形式に変換)を使用し、ベトナムについての知識及びベトナム語の基本・日常会話といった 2 つの内容を伝えていきます。また、Teams の機能を活用し授業のメモやベトナム語発音の自作録音・録画などの視聴覚資料を学生と共有しています。

各回のテーマは下記の通りであります。

- 第 1 回 ベトナムの基本知識・あいさつ
- 第 2 回 ベトナムのユニークな所・自己紹介
- 第 3 回 ベトナムの料理・注文
- 第 4 回 ベトナムの旅行・買い物
- 第 5 回 ベトナムの若者のライフスタイル・友達づくり

今期の総括と課題:

本講座では受講生にベトナム語だけではなくベトナムの基礎知識を理解してもらうために工夫しました。毎回学生との相互コミュニケーションを重視しながら、オンライン授業を実施しました。ベトナムの基礎知識としてベトナムの自然、名物をはじめ、歴史・文化の特徴を写真や動画で紹介しました。それに加えて、受講生の関心や知りたいことを、レッスンの内容と関連づけて説明しました。また、ベトナム語の表記と発音について紹介し、1～数語から成る文を表記のルールに沿ってある程度正しく読み上げられるように練習させました。この段階では受講生がベトナム語のやや複雑な音節・声調に苦戦したと思いますので、発音を丁寧に指導し、何回も繰り返してもらいました。また、応用性が高いと思われる会話を導入し、楽しくベトナム語の文法と語彙を覚えてもらいました。相手の性別・年齢・人間関係に応じた挨拶、料理の注文の仕方、物の値段の聞き方やベトナム人と友達関係を築くための簡単なやりとりを、講師とクラスメートとペアで練習させました。受講生から、本講座を通じてベトナムの言葉とベトナムのことが面白い、もっと知りたいという声をいただいて非常に嬉しいことです。

## 2.2.4 語学検定試験対策講座

TOEIC Clinic (TOEIC Beginners)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 5<sup>th</sup> period

Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

#### Course Contents:

This short course served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc.

#### End-of-Semester Review:

The Monday 5<sup>th</sup> Period slot remained a well-attended slot for the TOEIC preparation classes. As always, using different practices tests but the same strategy preparation is risky, but just like last year a number of new students took the course, so there was no problem. Attendance was sometimes an issue; there should be some method to enforce participation.

### New TOEIC Reading Exercises (TOEIC Veterans)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 5<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To improve reading speed and comprehension of TOEIC Reading Questions.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

#### Course Contents:

In this short course, we focused on improving reading speed and comprehension for Section 7 of the TOEIC. We used TOEIC practice questions and did reading and vocabulary-building drills. We also used the questions to learn about the kinds of cultural and business situations that appear in the TOEIC.

#### End-of-Semester Review:

I am thinking about whether to continue this class for the future. In addition to the reading benefits, it can serve as an entrance to studying business English. However, I am less convinced that careful reading of TOEIC questions benefits them in the timed conditions. Perhaps a mixture of both extensive and intensive reading in general will be a better way of conducting the course. I will take this into account in the future.

### TOEIC Strategies: 10-Week Course

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 5<sup>th</sup> period

#### Objective:

- To become familiar with the kind of language on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

#### Course Contents:

This class was for students who already have some experience with the TOEIC. Using sections from an ETS-Oxford test preparation book, we went into detail about strategies for taking the



TOEIC test. We spent most of the time trying out various time-saving techniques, as well as practicing best-guess strategies. We also studied important grammar points and developed semantic flexibility.

#### End-of-Semester Review:

This was the third time to try out a longer TOEIC class. Materials and course structure had could be conducted in a usual manner, since the course was face-to-face style. There were students from a wider variety of majors this time around, which is a good sign that our “iCoToBa is for everyone” message is slowly spreading. It seems as though students from the School of Social Welfare are the most open to joining, after the School of Foreign Studies of course. At any rate, the course was conducted smoothly, with the old textbook still being of use. However, for the next version I hope to include more specific material for the TOEIC IBT Test, which the students will take at APU.

### TOEIC Clinic, Pre-test Sessions

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 6<sup>th</sup> period December 6<sup>th</sup>, 13<sup>th</sup>, 20<sup>th</sup>, Wednesday 5<sup>th</sup> period  
December 22<sup>nd</sup>, Friday 5<sup>th</sup> period December 17<sup>th</sup>

#### Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

#### Course Contents:

This short course served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc. This course was connected to an iCoToBa-based program for funding eligible students' TOEIC test fees.

#### End-of-Semester Review:

For this version of the TOEIC Clinic 2<sup>nd</sup> Semester short course was conducted in separate periods as before. This is a necessary method because this course was connected to funding eligible students' TOEIC test fees. However, it naturally leads to partial attendance and a lack of cumulative learning. Student participation is also greatly unbalanced, with a few highly motivated students compensating for the quietness of the others. I will make stronger questions policy in the future.

### 夏季英語検定試験対策講座

リスニングセッション対策講座・リーディングセッション対策講座・

スピーキング&ライティングセッション対策講座

授業時間: 9月6日(月)～10日(金)、13日(月)・14日(火) 1・2限、15日(水) 1限

リスニング 7 講座、リーディング 6 講座、スピーキング&ライティング 2 講座

## 春季英語検定試験対策講座

リスニングセクション・スタート講座・リーディングセクション・スタート講座・

スピーキング&ライティングセクション・スタート講座

授業時間:2月15日(火)~18日(金)、21日(月)~22(火)、24日(木) 1・2限、25日(金)

1限 リスニング7講座、リーディング6講座、スピーキング&ライティング2講座

担当: 宮崎 尚一

授業目的:

検定英語受験対策のための総合英語力強化

授業内容:

コロナ禍の影響もあり、本講座ではリアルタイム双方型オンライン授業スタイルを取り入れた。必要に応じて画面共有機能を用いながら、TOEFL iBT、TOEIC、IELTS といった英語検定試験がどのようなものであるか解説し、特に TOEIC 試験に役立つ効果的な対策を行った。頻出問題を論理的な流れを踏まえて徹底的に分析し、設問の出題傾向を把握させ、各設問に対するアプローチの仕方を習得させるようにした。設問の選択肢から正解を選ぶうえでの「判断の根拠」を明確にすることを心掛けさせた。

今期の総括と課題:

ユニークな個性の受講生が集まり、総合英語力を強化するために各自が非常に努力してくれた。リーディング・スキルとリスニング・スキルの向上が、ライティング・スキルとスピーキング・スキルの向上にもつながるので、本講座では時間的制約もあって苦渋の選択ではあったが前者の2つのスキルに重点をおいた。参加した受講生が、リーディング・スキルとリスニング・スキルにおいて以前よりも自信をもって、この先も総合英語力向上に積極的に取り組んでもらうことを心から期待する。

## DELE B2 の準備をしよう!

授業時間:水曜日5限 (10月13日、20日、27日、11月3日、10日)

担当:Lidia SALA

Objective:

Becoming familiar with the content of the Spanish DELE certification exam and to practice several of its tasks.

Course Contents:

As it was an intensive course aimed at the preparation of the DELE B2 exam, classes were exclusively dedicated to provide enough practice of the oral exam and to reinforce efficient strategies to improve reading, writing and listening tasks.

End-of-Semester Review:

As both the students and I were already used to the online environment, this year's classes were better planned and implemented. Student attendance was good and their attitude and motivation was very high, as always. It is also worth noting that being only one exam level the target made classes more manageable than before.

## ドイツ語能力検定試験・CEFR 対策講座

授業時間:木曜日 5 限(11 月 18 日、25 日、12 月 2 日、9 日、16 日)

担当: Martin NIERIS

授業目的:

検定試験を受けるにあたり必要な知識や、日本のテストとは違う特有の設問を把握する。問題を何度も解き、当日はスムーズに試験に臨めるようにする。また、本番への心構えや重要なポイントなどを紹介し、メンタル面も含む試験対策をする。

授業内容:

試験の内容を把握するために、実際に出題された過去問題を解く。日本のテストとは違う事が多く、設問の内容が理解できない場合がある為、反復練習を行い、必要としている解答がスムーズに導き出せるようにする。

今期の総括と課題:

試験対策として難しい点などを詳細に説明した。一番難しいと思われる聞き取り問題やコミュニケーションを重視し、集中的に練習を行った。

## 日本語能力試験対策講座

授業時間:月曜日 3 限(10 月 18 日、25 日、11 月 8 日、15 日、22 日)(Zoom での遠隔授業)

担当: 西山 可菜子

授業目的:

日本語能力試験(以下 JLPT)N2 レベルを中心とした文法を習得する。

授業内容:

受講者は、(1)12 月に受験を予定し、N2 合格を目指すものが 1 名、(2)N2 に来年以降挑戦しようと予定しているものが 1 名の計 2 名であった。どちらも N2 レベルであったためニーズ調査を行い、「本を購入して勉強しているが、自分だけでの勉強では特に文法がよくわからない」、「まだ勉強していない文法をとにかく勉強したい」という本人たちの希望で、未習の文法を中心に導入、練習の形をとることとした。また、文法項目の説明を受けることなく、独学に近い形でここまで勉強を続けてきたため、品詞や活用などが明確でなく、自主学習する際の困難点となっていることが判明した。そのため「～詞」や「～形」が何を示すかを一度明確にし、グループ分けなど基本的な部分を整理する必要があった。

教材は 2 人とも既に購入済みであった『日本語総まとめ N2 文法』を使用し、こちらで準備した補助資料で文法の導入、意味の確認、接続の確認、例文作成とフィードバックを行った。大体 1 回の授業で 8～10 の文法を扱った。課題は任意で、それぞれ本の課末についている練習問題と、補助資料の文作箇所を行うものとした。

今期の総括と課題:

今回、受講者が同じレベルを希望し、またどちらも聴解が得意であるものの文法の基本的な知識がおさえられていないという点で共通していたため、学習者のニーズや現状に沿った授業の組み立てが可能であった。また今回は上級の学習者が集まったが、「普通形」が何を指すかや、「い形容詞・な形容詞」がよくわからないまま進めてきたため、自主学習の際にも曖昧で、穴のあいたまま学習を進めていくことが不安であったと述べていた。今さらと感ずるかもしれないが、試験対策や、今後自分で学習を進めていくことを見据えたうえで、一度基

礎をふりかえる作業は有効であると再確認した。これまでの対策講座のように、クラスに様々なレベルの学習者が含まれる場合であっても、基礎部分は全員が参加する形で授業を組み立てるというのも、一つの形として可能ではないかと考える。

12月に受験した学生からは、合格したとの報告を受けた。もう1名の今後の挑戦にも期したい。

## 受講者の声

外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻2年 高野 頌子

先生と生徒二人の少人数のクラスで、自由にお話ができるのでとても楽しかったし為になりました。自分の興味のある話題を取り上げて授業をしてくださったり、仏検の二次試験の練習などニーズに合わせて授業内容を決めてくださるので、毎回授業が楽しみでした。また、先生との距離も近くなるので、他の授業の質問や興味のある事ならなんでも先生に聞くことができるようになって、フランス語を勉強するモチベーションが上がりました。とにかく、今は語学をお勉強していても実際に使える場が少なくなっているのです、週に1回、90分話す時間はいい訓練になりました。

(留学前準備講座フランス語受講)

教育福祉学部教育発達学科1年 原 彩加

将来教師になった際に、様々な背景を持つ子どもや保護者の思いを理解したいと思い、第二外国語でスペイン語を学習している私にとって、この講座の存在はとても大きなものでした。亜希先生はとても明るく気さくで面白い方で、私のちょっとした疑問にも真摯に寄り添ってくださりました。回を重ねるにつれ、スペイン語並びにスペイン語圏の文化への関心が高まり、学科で受けている教育の授業も、教養のスペイン語の授業も、より身近で具体的なものとして主体的に考えるようになりました。最終回には、ペルーにルーツを持つご家族とも交流させて頂き、生の声を聞くこともできました。亜希先生、受講生の意見を柔軟に取り入れた、相互還流的な学びを得られる機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

(教育分野スペイン語入門講座受講)

外国語学部国際関係学科2年 岡戸 俊樹

今年度、私は後期木曜4限「ハリウッドの話題作：映画鑑賞とディスカッション」(“Hollywood's Strangest Movies: Viewing and Discussion”)と、後期木曜5限の「日本のポップカルチャーについて話そう：アニメ編」(“Let's Talk Japanese Pop Culture: Anime”)の2つのクラスを受講しました。どちらのクラスも刺激的で、毎回発見がありました。映画のクラスでは、形式<form>、内容(content)と対をなす概念>に注目しながら、作品について英語で解釈・分析・議論する能力が高まったと思います。また、アニメのクラスでは、私が観たことのなかった日本のアニメ(例えば、『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』や『桃太郎 海の神兵』)を鑑賞しました。作品について考察する中で、「アニメ」の捉え方が変わりました。

(映画鑑賞とディスカッション、日本のポップカルチャーについて話そう：アニメ編受講)

外国語学部国際関係学科 2 年 柴田 凜

Global News と Anime discussion の 2 つに今期参加してみました。必修の授業でネイティブの先生と英語で話をする機会はあるのですが、学生の人数が多いのであまりたくさんの時間話すことが出来ません。ただ、iCotoba のクラスは少人数なので先生と話せる時間が確保されていますし、参加している学生がみな積極的なので、下手でも楽しく英語を使うことが出来ます。英語以外のことでいえば、Global News の場合、外国のニュースから情報を集める練習になりました。そのためとてもいい経験が出来たと思います。そのため来期はもっと多くのクラスに参加したいと思っています。

(グローバルニューストーク、日本のポップカルチャーについて話そう:アニメ編受講)

外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 3 年 青木 愛美

私は、DELEB1 合格に向けて対策講座を受講しました。講座内では、実際の試験で出題されるような問題を解くだけでなく、一対一での口頭試験対策や、筆記の添削もしていただきました。また、DELE では主にスペインで使用されるいわゆる標準スペイン語以外にも中南米における語彙や地方のなまりが頻繁に出題されますが、これらの対策もしていただきました。先生はとても優しく指導してくださり、クラスも少人数だったので、無事合格することが出来ました！

(留学前準備講座スペイン語受講)

外国語学部国際関係学科 4 年 坪井 佑介

今まで触れたことのなかったベトナム語。“難しい言語”のイメージでしたが、諸地域言語の講義では難しい発音方法を含め丁寧な説明があり、講義を通してベトナム語で挨拶や自己紹介ができるようになりました。また、授業ではベトナムの食事や伝統、流行やライフスタイルなど、「ベトナムとはどのような国か」を学ぶことができるのも魅力の一つだと思います。知っているようで知らなかったベトナム。充実した 5 回の授業でベトナムへの関心が大きく深まりました。

(初めてのベトナム語入門講座受講)

外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 4 年 河村 留利

ポルトガル語初級学習者から中級程度まで幅広い学習者を対象に医療分野のポルトガル語の勉強ができる授業です。アットホームな雰囲気、質問がしやすいため、ほとんど毎回「日本ではこうだけど、ブラジルではどうなの？」と先生と生徒が互いに会話をしながら、日本の医療制度等と比較すると同時に、ポルトガル語の基本的な文法からブラジルの医療、政治事情まで深めることができました！ポルトガル語を勉強し始めの方でも、先生が詳しく日本語で説明してくれますよ！

(医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座受講)

## 2.2.5 iContact(あいこんたくと)

2021 年度の iContact は、iCoToBa のハック教員と教養教育センター外国人教員 3 名が担当する英語、新しく加わった教養教育ポルトガル語専任教員によるポルトガル語、留学生の SA(スチューデント・アシスタント)が担当する言語(中国語、韓国朝鮮語、ロシア語、ポルトガル語)で実施した。担当した学生は前期 3 名(中国語 1、韓国朝鮮語 1、ロシア語 1)後期 4 名(中国語 2、韓国朝鮮語 1、ポルトガル語 1)であった。今年度もコロナ禍の影響を鑑み、予約時に対面またはオンラインを選択可能とした。オンライン iContact を希望する学生には昨年度同様に Teams のテレビ会議システムを使って iContact を設定した。オンライン iContact を利用する学生も一定数はいたが、約 90%の学生は自分の出校日に対面での iContact を希望した。2021 年度の iContact 実施実績を表 6、表 7 に示す。

[表 6 2021 年度前期 iContact 実施実績]

言語	担当	実施回数	参加者数(のべ数)	合計時間
英語	iCoToBa 専任教員 教養英語専任教員	143	366	35.75
ポルトガル語	教養ポルトガル語 専任教員	25	31	6.25
中国語	留学生	14	44	7
韓国朝鮮語	留学生	33	95	16.5
ロシア語	留学生	16	29	8
合計		231 回	565 人	73.5 時間

[表 7 2021 年度後期 iContact 実施実績]

言語	担当	実施回数	参加者数(のべ数)	合計時間
英語	iCoToBa 専任教員 教養英語専任教員	151	347	37.75
ポルトガル語	教養ポルトガル語 専任教員	26	38	24.5
中国語	留学生	36	88	22.5
韓国朝鮮語	留学生	45	56	6.5
ポルトガル語	留学生	15	4	7.5
合計		273 回	533 人	98.75 時間

## Teacher's Voice

Josh BRUNOTTE (Liberal Education Center)

I believe the iContact program in the 2021 academic year was once again a success thanks in large part to the hard work of the iCotoba and PAGE Office staff. In regards to the COVID-19 pandemic, a safe yet comfortable environment was created in which conversations with the

students could take place. As a teacher, it was a joy to be able to talk to individual students through these one-on-one sessions and to learn about them more, as many people participated on a regular basis. The staff also provided opportunities for students to join over the internet, which expanded the scope of who could speak and from where. As I am moving to a new department from April, I would like to express my gratitude to everyone involved with iContact over the last 5 years. I have truly enjoyed being a part of this important program.

Christopher WYLE (Liberal Education Center)

This year's iCoToBa sessions were enjoyable and the students seemed well-served in that they could get help with test preparation, help understand assignments and, most commonly, enjoy just chatting in English. It was beneficial that this year students were able to utilize iCoToBa through Microsoft Teams online as well as in-person. This flexibility seemed to benefit students and there were no problems with online sessions when scheduled, thanks to the iPads provided by iCoToBa. I was glad to speak with many students from a variety of majors that I would not normally meet, as well as students within Liberal Education and my own current and former students who seemed to enjoy coming to the center. I am always impressed with the students' great attitude and knowledge and really enjoyed speaking with them throughout the year.

Craig JONES (Liberal Education Center)

It has been another enjoyable year of iContact. The iCoToBa continues to provide a wonderful opportunity for students to interact with native speakers. This year has been very difficult for many people because of the Covid-19 pandemic, however students were given the opportunity to attend meetings online using Microsoft Teams; this made many students happy as they were able to chat with someone from the safety of their own home. iContact also allows me to interact with students from departments that I do not usually teach. It is my fourth year at APU and certain students have been chatting with me in iContact for the whole time. I usually only get to meet students for one semester, so iContact has been a great place for me to get to know students more. I look forward to another round of interesting iContact sessions next year.

Eunice SUENAGA (Liberal Education Center)

Eu me mudei para Nagoia e comecei a trabalhar na Aichi Prefectural University em abril de 2021. Foi uma experiência muito boa ensinar português para os alunos japoneses e de outras nacionalidades, a maioria da província de Aichi, e interagir com eles. Fico muito contente em saber que esses alunos vão se tornar futuros professores e profissionais da área de saúde na província de Aichi, com maior número de brasileiros entre as províncias do Japão. Gostaria de continuar trabalhando para que os alunos sintam maior familiaridade com o Brasil e com os brasileiros.

私は 2021 年 4 月に名古屋に単身赴任し、愛知県立大学で教えています。多くが愛知県出身の日本や他の国籍の学生にポルトガル語を教え、彼ら彼女らと交流できてとても楽しかったです。彼ら彼女らが、ブラジル国籍の人々の数が日本の都道府県でもっとも多い愛知県で、

将来教師や医療従事者となって活躍してくれるのだと思うと、とても嬉しいです。これからも学生たちがブラジルやブラジル人をもっと身近に感じてくれるような活動を続けたいと思っています。



〔iContact の様子〕

## Student's Voice

徐 菽陽（日本文化学部歴史文化学科）

実は前期から icotoba をやってみたかったのですが、残念ながら、いろいろな原因でできませんでした。ですから、後期になったらなんと言っても必ず icotoba で日本人の友たちを作ろうと思って、最後はそれが実現できてとても嬉しいと思います。長い間、私は日本語を学ぶ学生として、日本語の知識を学び続けてきたのですが、今回は icotoba で中国語を学ぶ他の日本人学生と出会う、私は「学ぶ」側から「教える」側になりました。これは大切な経験になり、icotoba に参加する日本人学生の中国語学習だけでなく、私自身の日本語学習にも役立つと思います。最初は自信がありませんから、私はとても緊張してしまいました。しかし、icotoba に来てくれる中国学科の皆さんは優しくて親切な人で、私が慣れるまでいろいろ教えてもらいました。ここで今まで助けてくれる先輩たちに感謝な気持ちを伝えたいです。ありがとうございました！また来年よろしくお願いします。

上半学期听说 icotoba 的事就非常想参加，可惜当时因为各种原因没能如愿。所以，这学期一开始就抱着不管怎么说一定要在 icotoba 交到日本朋友的想法来试了试，最后实现了这一梦想感觉非常开心。很长时间我作为一个学习日语的学生去学习各种日语知识，但是这次在 icotoba 我遇到了很多学习中文的日本人学生，我从“学习者”变成了一个“教学者”。这让我受益良多，不仅对参加 icotoba 的日本学生学习中文有所帮助，对我学习日语来说也有很大帮助。一开始没有什么自信，我感到非常紧张，不过来 icotoba 参加会话练习的各位前辈都很亲切，教会我很多事情。我十分感谢给那些帮助过我的学长学姐们，希望来年再会。

サクダ デイジ(外国語学部研究生)

Eu vivo no Japão há 4 anos, e mesmo estudando há somente 6 meses, fico muito feliz em conhecer pessoas com interesse pelo Brasil. O Brasil é um país muito grande, e eu amo ensinar sobre como a cultura, o clima e a culinária deste país é diversa. Poder compartilhar meus



conhecimentos pela primeira vez desde que eu cheguei ao Japão me fez me sentir mais próxima do meu país. É um sentimento muito bom.

Em breve a Kendai terá curso regular de português, então por favor, vamos estudar português juntos!

日本に住んで4年間ですが、6ヶ月しか勉強していませんが、ブラジルに興味ある人と出会えてとてもうれしいです。

ブラジルは非常に大きな国だから、この国の文化、気候、料理がどのように多様であるかを教えるのが大好きです。日本に来てから初めて知識を共有できたことで、自分の国に親しみを感ずることができました。本当にいい感じです。

県大はまもなくポルトガル語の定期コースを開催しますので、一緒にポルトガル語を勉強しましょう！

ソン ギョンフン（日本文化学部歴史文化学科3年）

前期はハングル学習から始まり、後期には文章の読みまで、週1時間から2時間という短い時間でしたが、かなり成果を得られたと感じました。校外活動としては、新型コロナの影響で韓国現地に飛ぶことはできませんでしたが、日本国内で最大限の文化体験ができたことが非常に良かったと思います。来年度はコロナが収まり、より多く活動ができるように願っています。

전반기의 한글 학습부터 후반기의 문장을 읽는 것으로, 주 1 시간에서 2 시간 짧은 시간에 꽤 성과를 얻었다고 느꼈습니다. 교외 활동은 코로나로 인해 한국 현지로 갈 수 없지만, 일본 국내에서 최대한의 문화 체험을 할 수 있었던 것이 매우 좋았다고 생각합니다. 내년에는 코로나 종식 되길 바라면서 더 많은 활동을 할 수 있기를 바랍니다.

新村 衣織（外国語学部国際関係学科1年）

私は、ポルトガル語で会話ができるようになりたいと思い、iContactに参加しました。最初は、自分が言いたいこともいえず、先生が話す内容もわからない状態で、本当に話せるようになるのか不安でした。しかし、先生が日本語も使いながら、会話をしてくださったおかげで、どんどん表現を覚えることができました。新しい言語を学ぶことは難しいですが、練習すればするだけ力はつくと思います。みなさんも、第二外国語を上達させたいと思ったら、ぜひiContactを利用してください。

霜野 明日音（外国語学部中国学科1年）

私は前期・後期を通して韓国語のiContactに参加しました。もともと独学で韓国語を学んでいたもので、アウトプットして実力を伸ばす機会を持ちたいと思ったのがきっかけでした。iCotobaで知り合った友達や先輩は皆優しく、アットホームな雰囲気です。いつも昼休みが楽しみで仕方なかったほどです。勉強だ！と身構えることなく、毎回和気あいあいと韓国の言葉や文化について学ぶことができました。



[留学生 iContact の様子]

## 2.2.6 協定大学の学生とのオンライン交流

コロナ禍のため、2020 年度からほとんどの留学生が日本に入国できなかった。留学生の授業はオンラインとなり、日本人学生と交流する機会がなかった。そこで、日本人学生との交流を希望する留学生のために下記のとおりオンラインでの定期的な交流会を実施した。

リール大学(フランス):12 月・1 月 火曜日・木曜日 14:30～15:00

6 回実施 参加者 14 名(延べ人数)

グアダラハラ大学(メキシコ):2 月開始(実施中) 金曜日 11:10～11:40

2 回実施 参加者 14 名(延べ人数)

フランスリール大学の留学生と  
日本語とフランス語でおしゃべりしませんか？

12月2日(水)からスタートします！

**日時: 火曜日 14:30～16:00**  
**木曜日 14:30～16:00**

上記の時間帯で30分単位でTeamsのテレビ会議を使って  
会話をします。

興味がある人は[icofoba@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:icofoba@for.aichi-pu.ac.jp)まで。

メキシコグアダラハラ大学の学生とオンライン  
で交流しませんか？

2月4日(金)スタート！

**日時: 毎週金曜日 11:10～11:40**

申込方法: 開催日の前日(木曜日)の正午までにメールで申し込む  
宛先: [icofoba@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:icofoba@for.aichi-pu.ac.jp) Zoomのアドレスを随時送ります

参加費: 0円です。申込時にZoomのリンクを送ります。  
参加費を支払う必要はありません。

問合せ: [icofoba@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:icofoba@for.aichi-pu.ac.jp)

### 3 グローバルセミナー

iCoToBa グローバルセミナーは、2017 年度から始めた取り組みである。本学の教員や外部有識者を招き、国内外のグローバルな文脈における研究や、研究に関連した活動、または、海外生活で得た経験などについて紹介し、議論できる場をつくることを目指したものである。本学のグローバル事業が全学化されたことにともない、学生と教職員が交流できる場として設定された。2020 年度に続き 2021 年度もオンラインでの開催となったが、計 11 回のセミナーが開催された。オンラインセミナーを視聴するためには、まず大学で使用する Office365Teams で Global / iCoToBa のチームに自分で参加登録しなければならない。2021 年度当初の登録者数は 113 人であったが、最終回の第 11 回セミナー終了時には、254 人と約 2 倍になった。毎回 30 人超の参加者があり、オンライン開催によって、様々な場所から気軽に参加していることがうかがわれる。グローバルセミナーは、本学教員をはじめ愛知県立芸術大学の教員もスピーカーとして招き、学部や大学間を超えた学びの場としての役割を果たしている。2021 年度に開催したグローバルセミナー一覧を表 8 に示す。(以下、講師の敬称略)

#### 大西洋の両端で考えた世界と文化

講師：梶原 克教(外国語学部英米学科)

講師の研究者としての経歴は、アイルランド(アングロ・アイリッシュ)文学研究から始まったが、現在はカリブ文化研究に携わっている立場として、両文化圏が現代の世界文化にもたらした影響とその理由を解説した。本学の外国語学部・英米学科でも、科目分類が「アメリカの文学・文化」に対して「イギリスの文学・文化」と置かれ、「アメリカの社会」に対して「イギリスの社会」と置かれている。同じ英語圏でも、そうした分類からはオーストラリア、カナダ、インド、そしてアイルランドやカリブという視点が抜けている。そのような大国主義(欧米主義)から離れてみると、世界の見え方は変わってくる。

たとえば、従来イギリス文学史の中で扱われてきた作家の中で、20 世紀ノーベル文学賞受賞者をみると、W. B. イェイツ、G. B. ショー、S. ベケット、S. ヒーニーとアイルランド(アングロ・アイリッシュ)系を枚挙するのにいとまがない。カリブ文化についても同様に、アメリカの文化とされているヒップホップなども、もともとはカリブからの移民がもたらした文化であった。そのような文化のダイナミズムについて、ジャマイカやトリニダードの音楽などを例に、re-appropriation という観点から考えてみた。



## ニューヨーク ― 国際人になるためのヒント

講師: 須能 玲奈 (Japan Fashion Link, Inc. 取締役)

帰国子女でもなく、コネもない状態で、大学生の時から恋焦がれたニューヨークに、東京での4年半の社会人生活を経て、30歳直前に単身渡米。その後、語学学校へ1年ほど通い、リーマンショックの尾を引く不景気の中で奇跡的に就労ビザを取得し、アメリカでの仕事をスタートした。日系企業の現地子会社、中規模、大規模、スタートアップの米系企業、現地の日系スタートアップ、日本発スタートアップと多様な会社で11年に渡って

働く中で独自に学んだ、アメリカ企業での生き残り方、アメリカ企業で評価される仕事の仕方を分かりやすく解説した。また、実際に働いてこそ知り得た米系企業の内部事情、現地の語学学校の様子、さらには、国際人となるために必要なことなど、実体験をもとに語った。旅行からは見えてこないアメリカやニューヨークのことを知りたい人、アメリカで働いてみたい人、世界を舞台に仕事をしてみたい人、人生の方向転換をしたい人、自分らしい生き方をしてみたい人、と思っている人にとって、大変貴重な講演となった。



## Music from the San Francisco Bay Area - History, Listening and Discussion

講師: クリス・ワイル (教養教育センター)

The San Francisco Bay Area in the U.S. has long been known for being a place where new ideas are born. For decades, the San Francisco area was home to some of the most creative and new music anywhere. In this talk the teacher, a Bay Area local, will introduce us to different bands that San Francisco gave birth to across different genres, such as rock, hip-hop, punk and soul music. We will listen and

discuss about different musical groups as well as share our own opinions and favorite music as well as learning a little bit more about San Francisco's musical history.





## 朝鮮民主主義人民共和国（「北朝鮮」）ありのまま

講師：山本 かほり(教育福祉学部社会福祉学科)

みなさんは朝鮮民主主義人民共和国(朝鮮＝「北朝鮮」というとどんなイメージをもっているでしょうか？日本では、いや、「国際社会」では悪魔のように言われる朝鮮。しかし、私たちが立っている「国際社会」とはどのような「社会」なのか？朝鮮の立場にたって朝鮮の主張に耳を傾けたことがあるでしょうか？また、朝鮮での人々の暮らしに思いをはせたことがあるでしょうか？セミナーでは 2011 年から 17 回、調査研究を中心に訪問した朝鮮の姿をみなさんにご紹介し、今の日本社会のあり方もあわせて考えてみたいと思っています。



## 「貧困」と「文化」：国内外のフィールドワークから見えること・感じること

講師：野田 博也(教育福祉学部社会福祉学科)

講師は日本や海外の貧困問題について研究をしている。研究の成果は論文等によって見えるようになるが、その研究の背景にあるような経験はほとんど表に出ない。このセミナーでは、学生時代から続く国内外のフィールドワークでみえた、みようとしている「貧困」現象のかたちや特徴、それに抗う人々の取り組み等を紹介する。国や地域、言語の境界を超えて、ある「問題」を探究することの意義やおもしろさについて触れる。また貧困問題からみた多文化共生のあり方に、ついても言及する。



## 「青い鳥」としての話者：南仏の少数言語「オクシタン語」との 30 年

講師：佐野 直子(外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)

本講演は、講演者がフランスの消滅の危機に瀕する言語の一つであるオクシタン語に出会ってから 30 年間の言語学習と調査・研究を紹介することを通して、従来の近代言語研究の前提であった「母語話者による自然な発話から現れる自立した体系としての言語」を問い直し、現在の少数言語研究・危機言語研究の射程を考察するものである。90 年代初頭、講演者が「オクシタン語」の存在に関心を持って渡仏した時点で、オクシタン語は「(もはや)誰も話していない言語」だとみなされていた。それでもこの言語を身につけたい、話者に会いたいと南仏

各地やさまざまな催しに参加していく過程で、「誰も話していない」どころか、私の周囲には常に「オクシタン語話者」がいることに気づいた。それは、日本からやってきた「よそ者」がオクシタン語を話したがることで、オクシタン語を使うための「特別な場」が作り出され、人々がそこに参加してくれたためであった。現在、世界各地で多くの言語が消滅の危機に瀕しているが、その消滅をくい止めようとする人々は、このような「特別な場」を各地に作り出し、そこに自発的に参加することで「話者」として育っている。このようなローカルかつグローバルなネットワークの手段であり目的としての「言語」とは、近代の言語観を超えた新しい視点を提示している「オクシタン語話者」を探し続けて、見つけたのは、その間に「オクシタン語話者」の一人となっていた自分自身であった。



## 音楽の神に背く者、愛知に来たる！「僕とゾンビ音楽の歩み」

講師：安野 太郎（愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻）

今年度愛知県立芸術大学作曲コースに准教授として着任した安野太郎は、これまで「ゾンビ音楽」と名付けた自動演奏音楽の創作活動を行ってきました。「ゾンビ音楽」とはオリジナルの自動演奏機械による他に例のない奇妙な響きの音楽です。本セミナーでは「ゾンビ音楽」が何なのか、神に背くとはどういうことか？これまでどのような活動をしてきたかを語ると共に、自らの出自（ブラジルのルーツ）も絡めてこれからの展望、来年に控えた新作の構想等もお話しました。



## ポルトガル語通訳としてアフリカに行く

講師:スエナガ エウニセ(教養教育センター)

アフリカには旧ポルトガル植民地で、ポルトガル語が公用語の国がいくつかある。アンゴラ、モザンビーク、カーボヴェルデ、ギニアビサウなどである。発表者はフリーのポルトガル語通訳時代、2007年から2011年のあいだ、農業開発、港湾整備、教員養成校建設、地域振興分野等の JICA 国際協力プロジェクトの通訳としてアンゴラ、モザンビーク、カーボヴェルデに 3、4 回ずつ派遣され、長いときは約 2 か月間、短いときは 1 週間一つの国に滞在し

た。発表では通訳としての経験のほかそれぞれの国の基本情報、人々の暮らしや現地で見つけた日本との思いがけないつながりに、ついて話す予定である。



## CT (Collective Trauma) ワクチンの世界へようこそ

～自分とまわりの関係にサーチライトをあててみよう！

講師:牛島 佳代(看護学部看護学科)

CT という概念を最初に使ったのは、バプアロー・クリーク洪水で炭鉱住民の集落が洪水によって激しく損壊し、大勢の人々が亡くなった事件を研究した社会学者のカイ・エリクソンである。エリクソンによれば、CT とは衝撃的な出来事があった時、人の心が深く傷つくように、家族や近所や友人といった人と人を結ぶつながりを損傷し、それまで人々の間に浸透していた連帯意識(共同性)を傷つける



ことである。現在、新型コロナウイルス感染症に関して、「正しく知って正しく恐れる」ことが推奨されている。しかし、「どの情報が正しいかわからない」という情報の不確実性の状況で、ひとりで「正しく知って正しく恐れる」ことは極めて困難である。自分が正しいと思った行動であっても他の人からどう判断されるかわからない状況の中で人々はいつしか疑心暗鬼となり、時には昨日まで普通に接していた人と敵対することとなる。こうした行き詰った状況で具体的な事態の改善を試みるためには、参加型のアクション・リサーチの手法を取り入れる必要がある。具体的な場面について、コミュニティや組織の当事者が対話することによって、自らが気づき、その気づきを集団で共有する。これが CT (Collective Trauma) ワクチンの試みである。



## 情報とコンピュータのあゆみ ―世界と日本―

講師: 辻 孝吉 (情報科学部情報科学科)

そろばんから計算機、コンピュータと発展し、今や情報機器に限らず様々なものがネットワークで繋がる世の中です。情報やコンピュータなどについて、紀元前から現代までを振り返り、世界と日本がどのような関りをしてきたかを紹介します。この振り返りを通じて、日本の情報関連分野にグローバル性があつたかどうかについて見る事ができればと思います。



## どこまで透明にするの？

### ―共和国の中の共和国で見たウズベキスタン共和国大統領選挙

講師: 川畑 博昭 (日本文化学部歴史文化学科)

共和国も大統領も日本ではなじみがありませんが、国際選挙視察団メンバーとして、2021 年 10 月 24 日に実施されたウズベキスタン共和国の大統領制を、選挙という時間的にも限られた場面で体験しました。「スーパー大統領制」と言われ、権威主義や独裁で特徴づけられがちですが、そこには 1991 年の独立から四半世紀もの間、同一人物が大統領であった歴史と無関係ではありません。それだけに選挙の公正性と透明性は、町中に貼られた候補者全員の経歴から「きちんと」

伝えられ、投票所では投票箱まで「透明」にする徹底ぶり！？で確保されているかのような様子でした。本当に公正なのか、実は出来レースなのか？！わずかでも物事の真相に触れたくて、市井の人びとの声を聞き、現職以外の候補者の支援事務所の選挙運動の光景を目にし、同行してくれた通訳が「以前よりは発言は自由にできるようになったけど…」とこっそり話してくれた事実に触れて、一刀両断にできない物事の複雑さを感じました。君主のような大統領でも「必ず終わりがある」というのが共和制の肝。そうだとすれば、ウズベキスタンはいまなお、共和制をつくる途上なのだと感じることでした。





[表 8 2021 年度開催グローバルセミナー一覧]

月 日	講師	タイトル	参加者数
5/12	梶原 克教 (外国語学部英米学科)	大西洋の両端で考えた世界と文化	38
5/28	須能 玲奈 (Zero Waste, Inc. 米穀事業統括)	ニューヨークー国際人になるためのヒント (教養科目:人生設計とキャリア共催)	101
6/16	クリス・ワイル (教養教育センター)	Music from the San Francisco Bay Area —History, Listening and Discussion	43
7/14	山本 かほり (教育福祉学部社会福祉学科)	朝鮮民主主義人民共和国(「北朝鮮」)あ りのまま	43
7/21	野田 博也 (教育福祉学部社会福祉学科)	「貧困」と「文化」:国内外のフィールドワー クから見えること・感じること	24
11/3	佐野 直子 (外国語学部ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻)	「青い鳥」としての話者: 南仏の少数言語「オクシタン語」との 30 年	44
11/18	安野 太郎 (愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻)	音楽の神に背く者、愛知に来たる! 「僕とゾンビ音楽の歩み」	33
12/1	スエナガ エウニセ (教養教育センター)	ポルトガル語通訳としてアフリカに行く	45
12/15	牛島 佳代 (看護学部看護学科)	CT (Collective Trauma) ワクチンの世界へ ようこそ ～自分と周りの関係にサーチラ イトをあててみよう!	35
1/12	辻 幸吉 (情報科学部情報科学科)	情報とコンピュータのあゆみ ー世界と日本ー	32
1/20	川畑 博昭 (日本文化学部歴史文化学科)	どこまで透明にするの? ー共和国の中の共和国で見たウズベキ スタン共和国大統領選挙	40

## 4 iCoToBa のイベント

iCoToBa では、異文化理解および異文化交流の促進を目的に、さまざまなイベントを開催している。2021 年度もオンラインでの開催が多くなったが、コロナウイルス感染症対策をしたうえで、対面でのイベントも実施した。開催イベントを以下表 9 に記す。

[表 9 2021 年度 iCoToBa 開催イベント一覧]

実施日	時間	イベント名	参加者数
4 月 12 日	12:20～12:50	スライドショーiCoToBa 活動の一年*	8
4 月 13 日	12:10～12:50	ISC オリエンテーション	4
5 月 13 日	21:00～21:45	新入生歓迎会	13
7 月 10 日	21:00～22:00	日独交流会	29
7 月 15 日	21:00～22:30	Farewell Party	9
11 月 2 日	21:00～22:00	iCoToBa Welcome & Halloween Party	13
1 月 5 日	16:00～17:30	New Year's Party*	8
1 月 15 日	21:00～22:30	日独交流会	10
1 月 22 日	21:00～21:30	日英交流会	13

\*対面で実施





[ 2022 年 1 月 5 日 New Year's Party ]



[ Japanisch-Deutsches Austauschtreffen via Zoom: Juli 10, 2021 ]

## 5 外部・地域との連携事業

2021 年度は愛知県教育委員会との連携で、英語教育推進事業「探・県大スタディツアー」を実施した。内容は下記のとおりである。

### 探・県大スタディツアー

#### 《主 旨》

県立高等学校に在籍し、オンラインでの参加も可能な生徒を対象とし、県立高等学校に在籍する生徒が、愛知県立大学において、より高度な学びを体験するとともに、外国人留学生等との交流を通じて、国際的な視野の滋養を図る。(令和3年8月25日に発令された緊急事態宣言延長により ZOOM を活用したオンライン実施に変更)

#### 《実施日》

令和3年9月18日(土)午前の部(10:00～12:00)参加者:19名

令和3年9月18日(土)午後の部(13:00～15:00)参加者:18名

令和3年9月25日(土)午前の部(10:00～12:00)参加者:14名

令和3年9月25日(土)午後の部(13:00～15:00)参加者:17名

#### 《当日のスケジュール》(各日程同一内容)

- ① 趣旨説明・諸注意(10分)
- ② オンラインキャンパスツアー(20分)
- ③ 模擬授業(60分)
- ④ 交流会(30分)

#### 《講師および本学学生》

講 師	Craig Jones	教養教育センター准教授
本学学生	吉川 真広	外国語学部英米学科4年
	加藤 吉博	外国語学部英米学科4年
	黒田 萌	外国語学部英米学科4年
	Sun Qing Xun	日本文化学部歴史文化学科3年
	Lin Yong Chun	日本文化学部歴史文化学科3年



## 6 広報活動

### 6.1 iCoToBa 公式 Web サイトでの発信

iCoToBa は、2013 年の開室にあわせ公式 Web サイトを開設し、iCoToBa の利用促進を目指して、さまざまな情報発信をしている。iCoToBa の公式 Web サイト「Pickup Information」と「新着情報」を定期的に更新し、イベントや講座情報などを広く発信した。更新日とタイトルを表 10 に示す。2021 年 4 月 1 日から 2022 年 2 月 3 日の発信件数は 46 件である(2022 年 2 月 3 日現在)。

[表10 2021年度iCoToBa公式Webサイトでの情報提供]

更新日	タイトル
2021.4.6	2021 年 iCoToBa 説明会を開催します
2021.4.6	iCoToBa Welcome Week について
2021.4.7	2021 年度前期 iCoToBa 講座受講申込みについて
2021.4.7	iContact の予約について
2021.4.13	ポルトガル語 iContact が始まります！
2021.4.21	留学生による iContact が始まります
2021.4.28	4/30（金）は閉室します
2021.4.28	2021 年度第 1 回グローバルセミナーの開催について
2021.4.28	5 月 6 日（木）～14 日（金）英語 iContact の予約状況について
2021.5.6	ISC 企画のイベントを開催します
2021.5.21	2021 年度第 2 回グローバルセミナーの開催について
2021.5.26	iCoToBa 地域コミュニティ言語講座（スペイン語、中国語、ベトナム語、韓国朝鮮語、ポルトガル語）受講者募集
2021.6.1	留学生イベント「やさしい日本語ってなに？」について
2021.6.9	2021 年度第 3 回グローバルセミナーの開催について
2021.6.10	留学生 iContact（韓国朝鮮語）のオンライン実施について
2021.6.17	「グローバル実践教育プログラム」ガイダンスの開催について
2021.7.8	2021 年度 第 4 回グローバルセミナーの開催について
2021.7.13	2021 夏！iCoToBa Summer Program「英語検定試験対策講座」受講申込みについて
2021.7.15	2021 年度 第 5 回グローバルセミナーの開催について
2021.7.27	2021 夏！iCoToBa サマープログラム 2「映画で英語を、英語を映画で：Summer Movie Discussion」受講者募集
2021.7.27	iCoToBa 夏の英会話イベント参加者募集！
2021.8.3	iCoToBa 夏季休暇閉室のお知らせ
2021.9.29	後期の iContact の予約を開始しました
2021.10.1	2021 年度後期 iCoToBa 講座の開講について

更新日	タイトル
2021.10.8	2021 年度第 1 回「グローバル実践教育プログラム」成果発表会の開催について
2021.10.8	留学生 iContact（中国語・韓国朝鮮語）10/11（月）から始まります！
2021.10.18	TOEIC クリニック（単発講座）の開講について
2021.10.18	「地域コミュニティ言語講座（ベトナム語・中国語・ポルトガル語・韓国朝鮮語）」の受講申し込みについて
2021.10.21	2021 年度 第 6 回グローバルセミナーの開催について
2021.11.8	2021 年度 第 7 回グローバルセミナーについて
2021.11.17	ドイツ語能力検定試験 CEFR 対策講座日程変更について
2021.11.24	2021 年度 第 8 回グローバルセミナーについて
2021.12.1	Christmas Movies Viewing and Talk 受講者募集
2021.12.1	フランスの留学生とおしゃべりしませんか？
2021.12.1	留学生 iContact にポルトガル語が加わりました
2021.12.6	2021 年度 第 9 回グローバルセミナーについて
2021.12.20	ビジターセッション参加者募集
2021.12.22	ISC イベント「New Year's Party」のお知らせ
2021.12.24	2021 年度 第 10 回グローバルセミナーについて
2022.1.7	日独交流会参加者募集
2022.1.13	2021 年度 第 11 回グローバルセミナーについて
2022.1.17	2022 春季英語 iCoToBa「英語検定対策講座」を開講します
2022.1.18	日英交流会参加者募集
2022.1.25	メキシコ グアダラハラ大学とのオンライン会話クラブ参加者募集
2022.1.27	春季休暇 iCoToBa 閉室のお知らせ
2022.2.3	「映画と英語で Back to School」受講者募集

## 6.2 SNS での発信(Facebook・Instagram)

2017 年 4 月に iCoToBa の Facebook「愛知県立大学 icotoba(あいことば)」を開設した。週に 1 回以上の更新を目標に、学生が読みやすいカジュアルな文章や写真を多くアップしている。また 2019 年度 6 月からは、Facebook と連動させて Instagram も開始し、認知度を高めるポスターの掲示や、ページへのアクションキャンペーンを行った。2022 年 2 月 3 日現在で Facebook のフォロワー数は 383 人、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 2 月 1 日の発信件数は 8 件である。また、Instagram のフォロワー数は 244 人、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 2 月 1 日の発信件数は 35 件である。Facebook および Instagram の記事の公開日および内容を表 11 と表 12 に示す(2022 年 2 月 1 日現在)。

〔表11 2021年度 Facebookによる発信状況〕

公開日	投稿内容
2021.4.7	iCoToBa Welcome Week・iCoToBa 講座広報
2021.7.25	iCoToBa SUMMER English Conversation Opportunity 広報
2021.7.26	iCoToBa SUMMER English Conversation Opportunity 広報
2021.10.21	留学生 iContact 広報
2021.10.22	Asahi Weekly バックナンバー 広報
2021.12.17	留学生 iContact 広報
2021.12.20	ビジターセッション参加者募集
2022.1.28	「ここからつたえるプロジェクト第3弾」 広報

〔表12 2021年度 Instagramによる発信状況〕

公開日	投稿内容
2021.4.6	iCoToBa Welcome Week 広報
2021.4.7	前期英語 iContact 広報
2021.4.8	iCoToBa Welcome Week 「先輩タイム」 広報
2021.4.9	iCoToBa 授業開始
2021.4.12	iCoToBa 先輩タイム広報
2021.4.13	iCoToBa 「DVD 視聴」 広報
2021.4.15	iCoToBa Welcome Week 最終日広報
2021.4.21	iCoToBa 講座広報
2021.4.21	留学生 iContact 広報
2021.4.21	iCoToBa 講座申込み広報
2021.5.7	留学生 iContact (中国語) 広報
2021.5.7	留学生 iContact (韓国朝鮮語・ロシア語) 広報
2021.5.18	iCoToBa 「メッセージで繋がろう」 広報
2021.5.19	iCoToBa 4月利用者掲示
2021.5.20	iCoToBa 「メッセージで繋がろう」 広報
2021.5.27	iCoToBa 地域コミュニティ言語講座広報
2021.6.1	「やさしい日本語ってなに？」 広報
2021.6.8	iCoToBa 5月利用者掲示
2021.6.23	第1回「日独交流会」 広報
2021.7.6	iCoToBa 6月利用者掲示
2021.7.6	Nest with baby swallows in it photo
2021.7.27	iCoToBa SUMMER English Conversation Opportunity 広報
2021.7.27	iCoToBa 夏季の英会話イベント広報
2021.10.21	留学生 iContact 始まりました！
2021.10.22	Asahi Weekly のバックナンバーを学習に役立てよう！



2021.11.9	地域コミュニティ言語講座「食文化から学ぶ中国語講座」広報
2021.11.10	iContact 広報
2021.11.22	「ここからつたえるプロジェクト」ウェブサイト広報
2021.11.25	Christmas Movies 広報
2021.11.25	ビジターセッション広報
2021.11.29	フランス語交流広報
2021.12.15	「ここからつたえるプロジェクト」更新広報
2021.12.17	留学生 iContact 広報
2021.12.17	ビジターセッション参加者募集
2022.1.28	「ここからつたえるプロジェクト第3弾」広報



〔iCoToBa SNS ページ〕



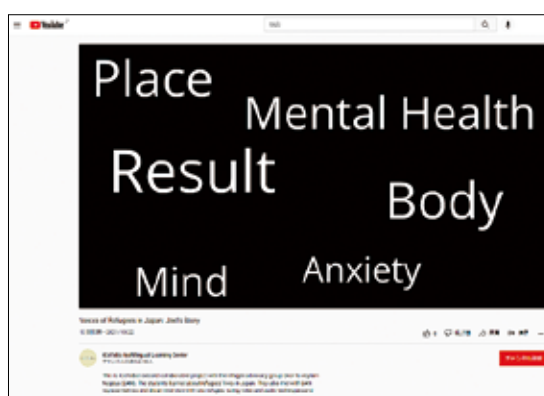
## 6.3 SNS での発信(YouTube)

iCoToBa Multilingual Learning Center

チャンネル登録数・・・48 (2022 年 2 月 1 日現在)

[表13 2021年度 YouTubeによる発信状況]

公開日	タイトル	視聴回数
2021.10.22	Voices of Refugees in Japan: Joel's Story	21



[Voices of Refugees in Japan: Joel's Story より]

## 7 iCoToBa 学部・学科別利用者一覧

(2021 年 4 月～2022 年 1 月)

2021 年度は学部、学科・専攻で決められた曜日で対面授業が実施された。iCoToBa は短縮時間(午前 9 時から午後 5 時)で開室した。iCoToBa 利用者一覧を表 14、表 15 に示す。

[表 14 iCoToBa 利用状況(外国語学部生)]

入学年度	外国語学部						
	英米	フランス	スペイン	ドイツ	中国	国際関係	計
2021	23	7	16	36	73	180	335
2020	67	71	39	14	3	200	394
2019	31	13	40	19	71	8	182
2018	8	0	12	0	0	14	34
2017 以前	9	0	69	16	1	5	100
計	138	91	176	85	148	407	1,045

(人数はのべ数)

[表 15 iCoToBa 利用状況(外国語学部以外の学生)]

入学年度	日本文化学部		教育福祉学部		看護学部	情報科学部	大学院	※ 交換留学生	芸大	計
	国語 国文	歴史 文化	教育 発達	社会 福祉						
2021	2	61	15	43	23	1	6	25	4	180
2020	0	0	10	0	0	0	2	12	0	24
2019	1	69	5	0	0	10	0	0	0	85
2018	0	4	0	0	3	3	0	0	0	10
2017 以前	0	0	0	0	0	0	0	0	11	26
計	3	149	30	43	26	14	8	37	15	325

※海外学術交流協定大学からの特別聴講学生を指す（人数はのべ数）

## 8 グローバル実践教育推進室会議

2021 年度のグローバル実践教育推進室会議開催一覧を以下、表 16 に示す。

[表 16 2021 年度グローバル実践教育推進室会議開催一覧]

回	開催日	主たる審議・報告事項
第 1 回	4 月 21 日	グローバル実践教育推進室名簿について 2021 年度グローバル実践教育推進室事業内容(案) グローバル実践教育プログラム修了認定スケジュール グローバル実践教育プログラム「海外協定大学修得科目 (外国語学部)」について E104・E105(旧通訳翻訳研究所)課室名及び運用について 東海東京財団の助成金執行結果 2021 年度前期 iCoToBa 講座開講状況
第 2 回 (メール会議)	5 月 18 日～ 21 日	令和 3 年度(2020 年度)前期 iCoToBa 講座開講予定について 地域コミュニティ言語講座「ポルトガル語」開講日程 2021 年度前期 iCoToBa 講座受講者数

		2021 年度前期留学前準備講座（独）閉講について
第 3 回 (メール会議)	6 月 15 日～ 18 日	グローバル実践教育プログラム「海外協定大学修得科目 (外国語学部)」の読み替えについて 夏季英語検定試験対策講座開講日程
第 4 回	8 月 25 日	2021 年度前期 iCoToBa 科目成績認定 2021 年度東海東京財団助成金の使途について 2021 年度後期 iCoToBa 開講科目の時間割について 2021 年度後期 iCoToBa 講座開講予定について 留学生向け科目の外部開放について 愛知県教育委員会との連携事業について グローバル実践教育推進室付教員の公募について 2021 年度 iCoToBa サマーコース 2021 年度前期 iCoToBa 地域コミュニティ言語講座受講状 況について 2021 年度前期留学生 iContact 実施状況について 6/30 開催グローバル実践教育プログラムガイダンス 2021 年度前期 iCoToBa 授業アンケート
第 5 回 (メール会議)	9 月 24 日～ 9 月 30 日	令和 3 年度後期 iCoToBa 講座開講について
第 6 回 (メール会議)	10 月 13 日 ～18 日	令和 3 年度後期 iCoToBa 開講講座について 2021 年度後期地域コミュニティ言語講座ポルトガル 語 2 講座開講日程
第 7 回	11 月 8 日	グローバル実践教育推進室専任教員選考委員の選出 2022 年度学生便覧「グローバル実践教育プログラム」履 修規程 2021 年度第 1 回グローバル実践教育プログラム成果 発表会 2021 年度後期 iCoToBa 講座受講状況 2021 年度後期 iContact 2021 年度グローバルセミナー実施状況 「探・県大スタディツアー」参加者アンケート
第 8 回	3 月 7 日	2021 年度後期 iCoToBa 科目成績認定 2021 年度グローバル実践教育プログラム修了証の発 行について 2022 年度 iCoToBa 週間講座非常勤委嘱について 2022 年度 iCoToBa 開講科目の時間割について 2022 年度地域コミュニティ言語講座開講案について 2021 年度後期 iCoToBa 授業アンケート

## 9 グローバル実践教育推進室

2021 年度のグローバル実践教育推進室室員および事務担当者は以下のとおりである。

室長	梶原 克教(教養教育センター長、英米学科)
副室長	高阪 香津美(国際関係学科)
室員	
外国語学部	楊 明(中国学科)
日本文化学部	福沢 将樹(国語国文学科)
教育福祉学部	久保田 貢(教育発達学科)
看護学部	岡田 悦政(看護学科)
情報科学部	辻 孝吉(情報科学科)
グローバル実践教育推進室	ブレット ハック(グローバル実践教育推進室・iCoToBa)
学務部部長	吉岡 主税
学務課課長	阿喰 悟
担当事務職員	水野 淑子(グローバル実践教育推進室・iCoToBa)
	秋本 美里(グローバル実践教育推進室・iCoToBa)

# iCoToBa 年報 第 9 号

グローバル実践教育推進室年報

2022（令和 4）年 3 月発行

発行：愛知県立大学 iCoToBa（多言語学習センター）  
〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3 E 棟 2 階  
Tel: 0561-76-8833 Fax: 0561-64-1107  
e-mail: [icotoba@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:icotoba@for.aichi-pu.ac.jp)  
<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/>

印刷 株式会社 あるむ

iCoToBa  
Annual Report  
Aichi Prefectural University

iCoToBaは東海東京財団の助成金を得て、運営しています